brother®

3本糸縁かがりぬいミシン

ホームロック

TE4-B233型・TE4-B235型(差動送り付き)共用

取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使いかたをご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

●アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
  ・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- その他のアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談室

ブラザー販売株式会社

本　社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL:(052)824-3125 FAX:(052)824-3031
北海道お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3丁目2-2	TEL:(011)261-6631
東　北お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
東　京お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3丁目3-8	TEL:(03)3281-4204
中　部お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL:(052)824-3193
関　西お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4丁目4番2号	TEL:(06)6531-4670
中四国お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4番28号	TEL:(082)240-3762
九　州お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2丁目3-12	TEL:(092)431-6566

⊙プラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記、最寄りの［お客様相談室］へご連絡ください。
⊙最寄りのお客様相談室におかけになったすべての電話は、本社お客様相談室へ転送されますが、転送電話料金は、弊社が負担致します。
⊙FAXの場合は、すべて本社お客様相談室でお受け致します。
⊙上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

1 安全にご使用していただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下の基本的なことがらを守ってください。

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。

⚠危険 ― 感電の危険を防ぐために

●以下のようなときは必ず電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
・ミシンのそばを離れるとき　・運転中に停電したとき　・お手入れをするとき
・ミシンを使用した後　・ランプを交換するとき

⚠注意 ― 火災、感電、傷害を防ぐために

●お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときには安全に対し特に注意を払ってください。
●ミシンの換気用の穴をふさがないでください。
ミシンの換気用の穴やフットコントローラーに糸くずやほこり、ゴミなどがたまらないようにご注意ください。
●ミシンの内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込んだりしないでください。
●分解しないでください。故障の原因になります。
●落としたり、ぶつけたり強い衝撃を与えないでください。
●コーヒー、ジュース、水などをこぼさないでください。
●ぬれた手で操作しないでください。
●屋外や、スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所ではご使用にならないでください。
また、ストーブやアイロンのそばでのご使用は避けてください。
使用温度は0℃～40℃です。
●所定の電源電圧以外でのご使用はなさらないでください。
●電源コードの接続には、延長コードの使用や他の電気製品とのたこ足配線をしないでください。
●電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源・ランプスイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと破損する恐れがあります。
●ミシン操作中は、針、メス、プーリー、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
●正規の部品以外をミシンに取り付けて使用することはなさらないでください。破損やケガの原因となる恐れがあります。
●曲がった針はご使用にならないでください。破損したり切れなくなりましたメスはご使用にならないでください。
●縫製中に布を引っ張ったり押したりしないでください。針の破損やケガの原因になります。
●針の周辺で以下のことをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・針穴糸通し　・オーバールーパー・アンダールーパーの糸通し
・針の交換　・押えの交換
●ミシンのカバー類を開けたり、注油、または取扱説明書に記載のある整備を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●ランプの交換は同じタイプの定格消費電力100V 12Wの電球をご使用ください。
●以下の場合にはミシンのご使用を速やかにおやめになり、お近くの販売店またはブラザーのサービスセンターにて検査、修理、または調整をお受けください。
・電源コードまたは電源プラグが破損したとき　・落下などにより破損したとき
・正常に作動しないとき　・ミシンが濡れたとき

このミシンは日本国内向家庭用です。

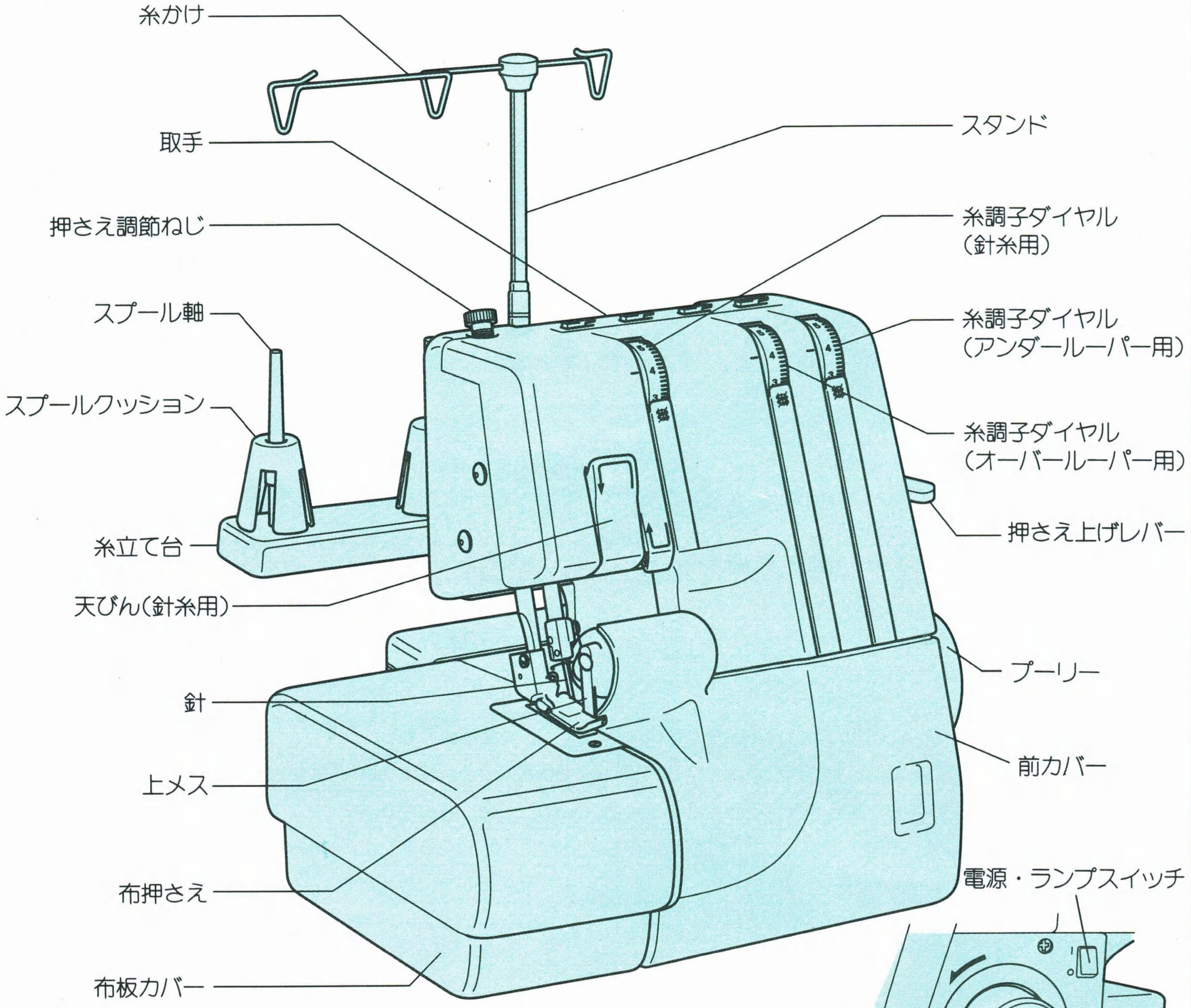
This sewing machine cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

取扱説明書は大切に保管してください。

仕　様

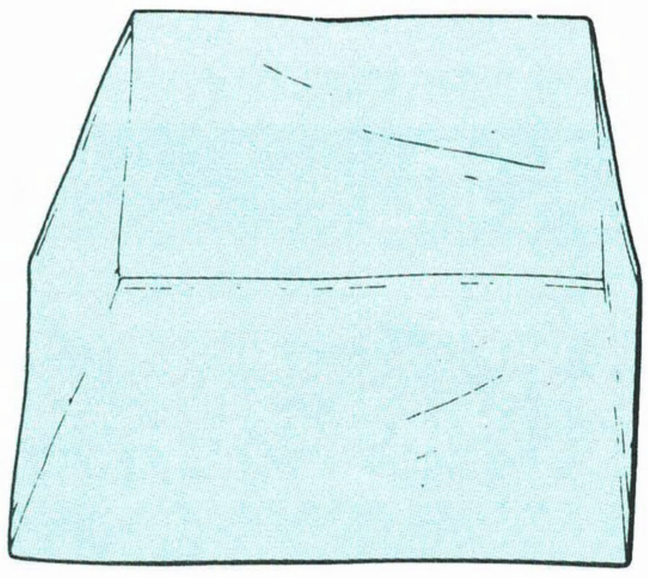
項　　目	仕　　様	項　　目	仕　　様
ぬ い 速 度	毎分1500針	か が り 幅	標準約3.5㎜
おくりの長さ(ピッチ)	R・2㎜～4㎜ (標準約3㎜)	使 用 ミ シ ン 針	HL×5…11番・14番 (HA×1…9番・11番・14番使用可能)
針 棒 ス ト ロ ー ク	25㎜	使 用 糸 本 数	3本
布 押 え	自由押え	ミ シ ン 重 量	6.5kg
布 押 え 上 昇 量 (2段め)	5㎜ (6㎜)	モ ー タ ー 定 格 〈TE4-B235〉	電圧100V 50/60Hz
		差 動 送 り (比)	0.7～2.0

2 各部のなまえ

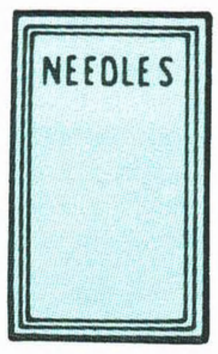


■付属品となまえ

ミシンカバー

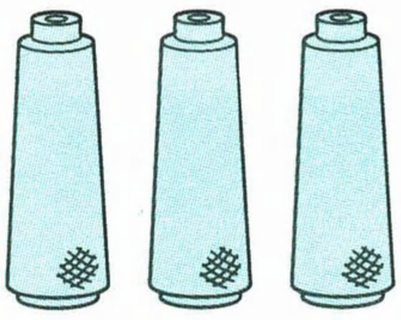


ミシン針

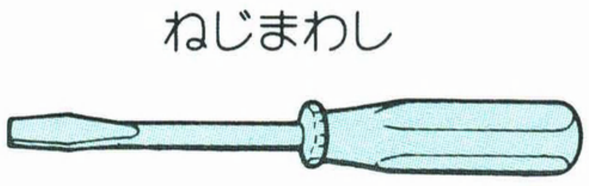


HL×5
11番……2本
14番……2本

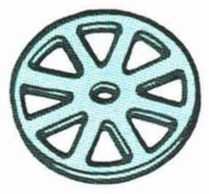
糸(3個)



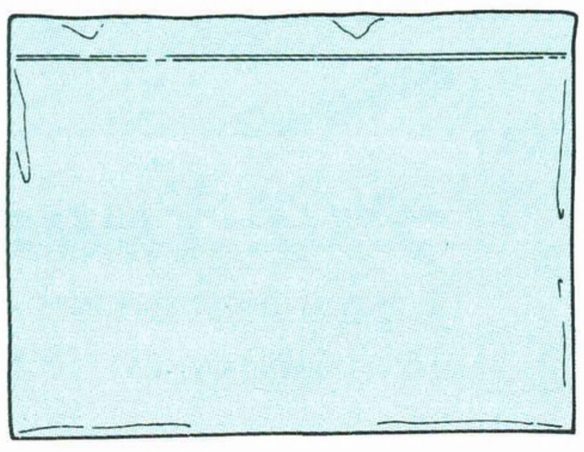
ねじまわし



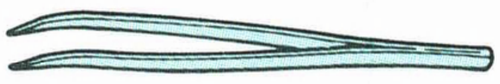
糸こまキャップ3個



付属品ケース



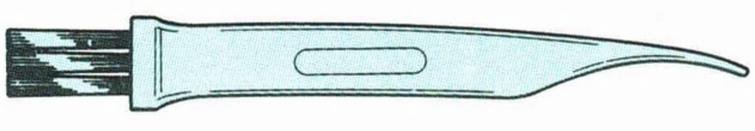
ピンセット

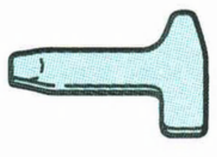


ネット 2個



ミシンブラシ

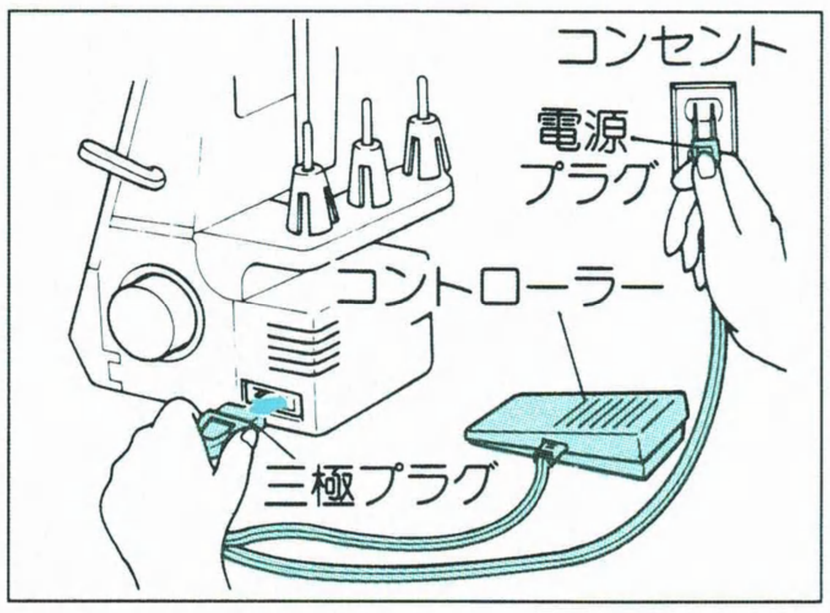




ねじまわし 1個

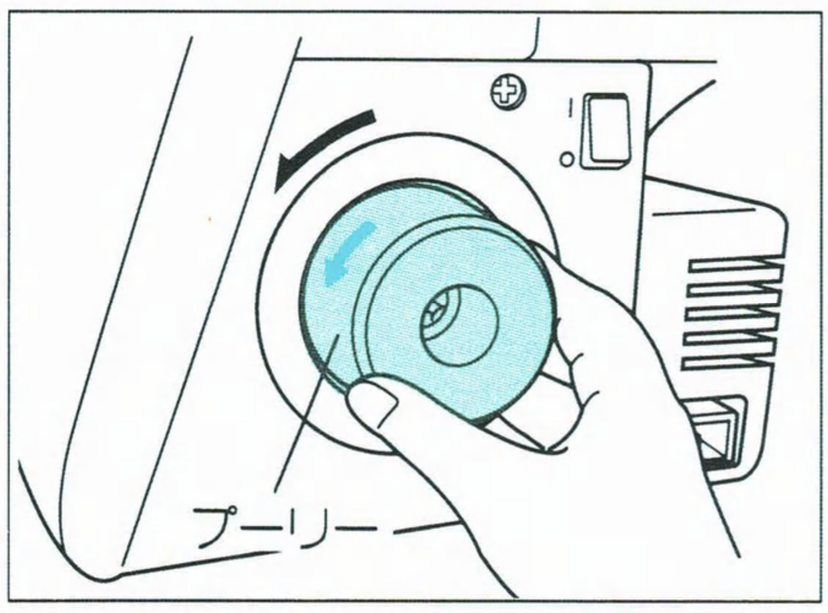
3 使用前の準備

●電源コード



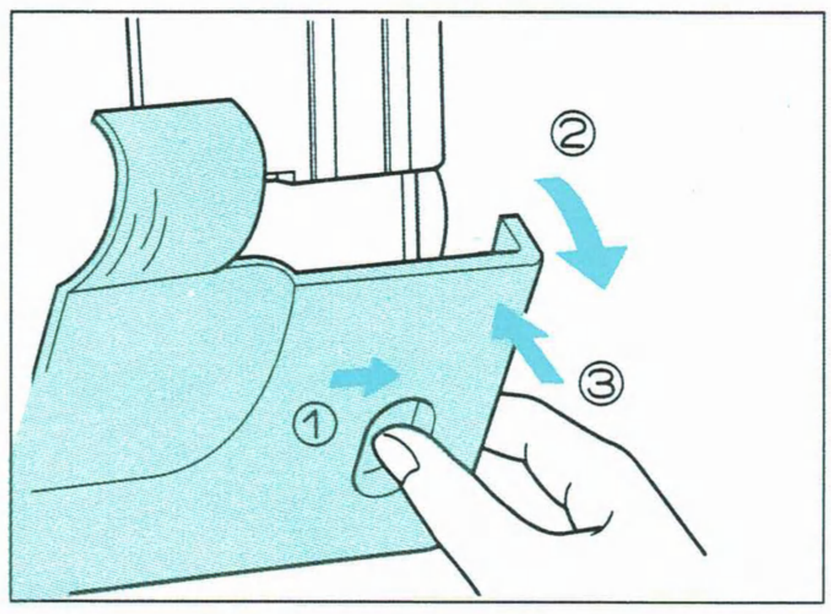
⚠注意
ミシンを使用しないときは、必ず電源スイッチをOFFにするか、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●ミシンの回転方向



注記
プーリーの回転方向は、普通の家庭用ミシンと同じ方向です。

●前カバーの開閉

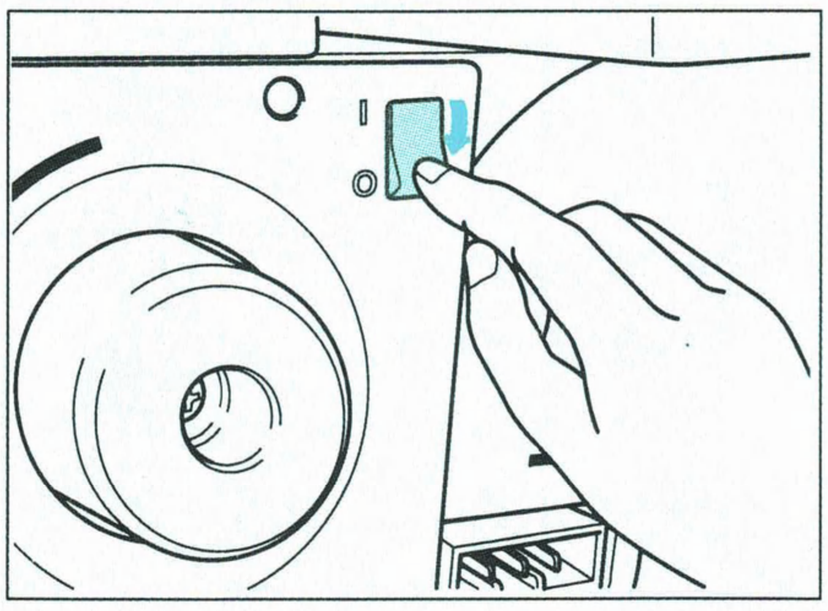


●開くには……
①右へ引き、②前カバーを開きます。
●閉じるには……
③前カバーを本体のほう
へかるく押します。

⚠注意
ミシン
布板カ

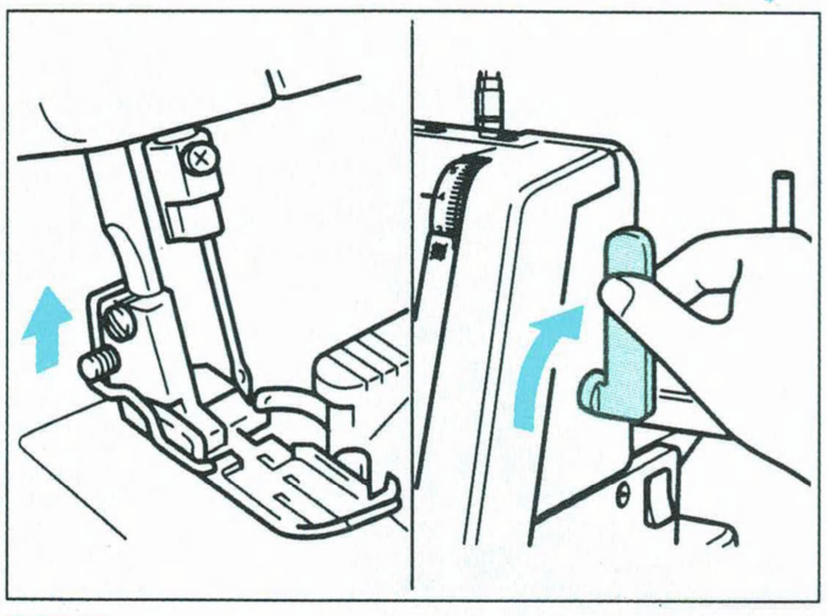
4 糸の通し方

1.糸を通す前に

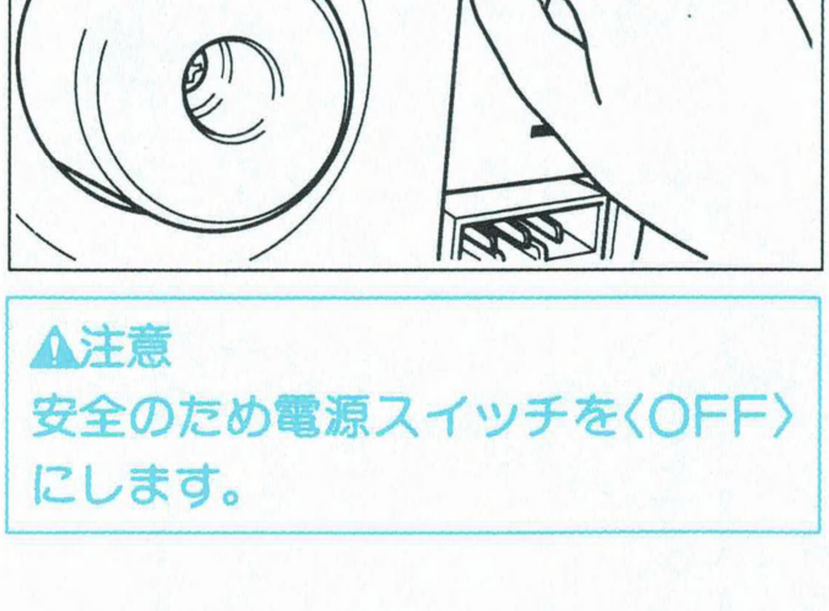


⚠注意
安全のため電源スイッチを〈OFF〉にします。

2.



注記
押さえ上げレバーを上げて、布押さえを上げます。布押さえが上がっているときは、ミゾ内部の皿が開き、糸が正しく入ります。そうしないと、正しい糸調子が得られません。





プーリーを回しながら、オーバールーパー糸、アンダールーパー糸、針糸それぞれの糸通ししやすい位置をさがし、下記の順序で通します。

3.糸通しの順序

次の順に糸を通してください。
1) オーバールーパー糸(糸調子ダイヤル目盛の色：緑)
2) アンダールーパー糸(糸調子ダイヤル目盛の色：青)
3) 針糸 (糸調子ダイヤル目盛の色：黄)

1 オーバールーパー

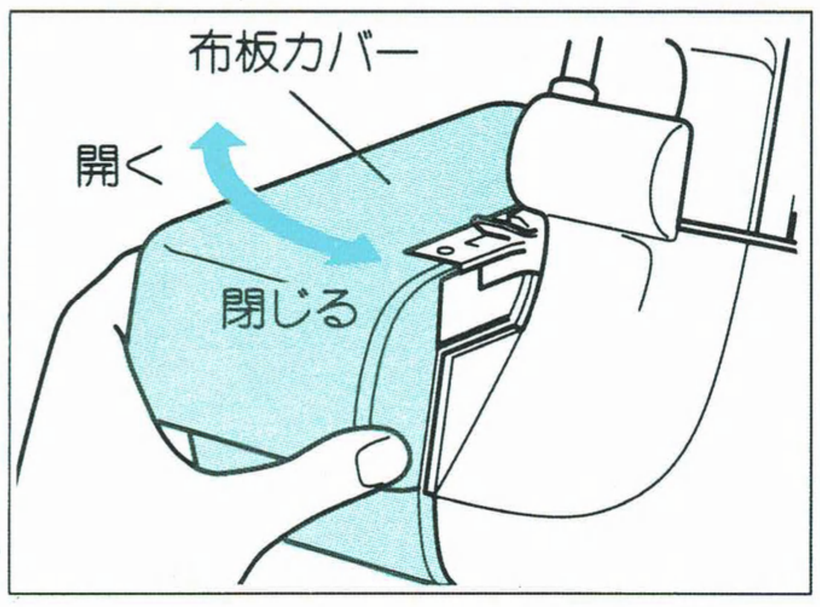
●番号順に糸を通します



プーリーを回し、オーバールーパーに

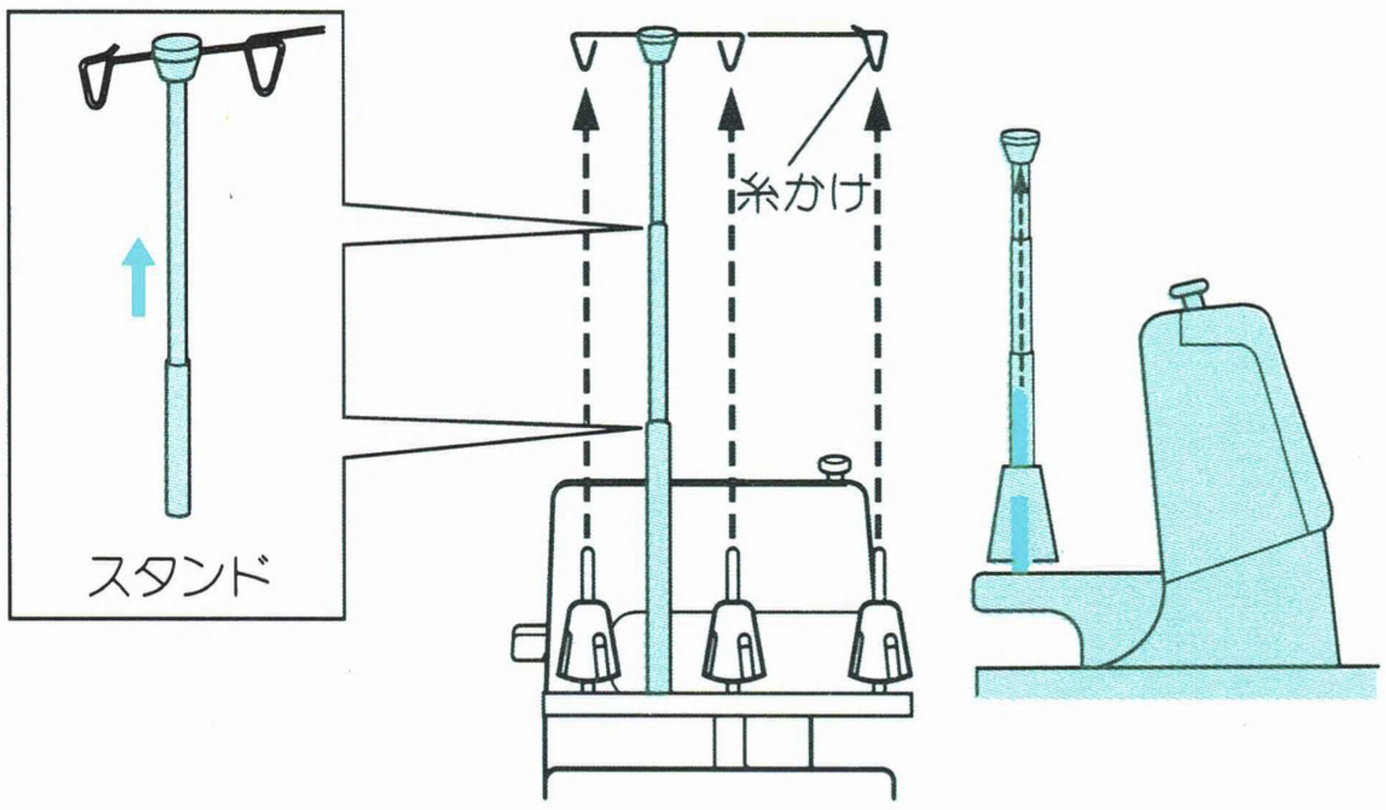
注記 前カバーと布板カバーを開き、

●布板カバーの開閉



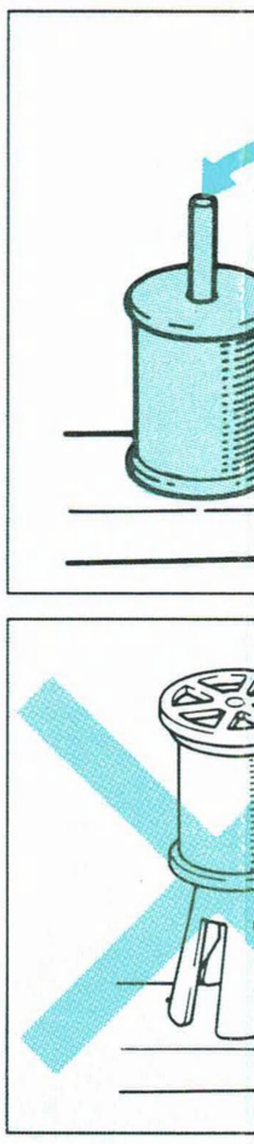
を操作するときは、必ず前カバーと
バーを閉じてください。

●糸かけスタンドの位置決め



スタンドを伸ばし、糸かけがスプール軸の真上にくるように位置を決めます。

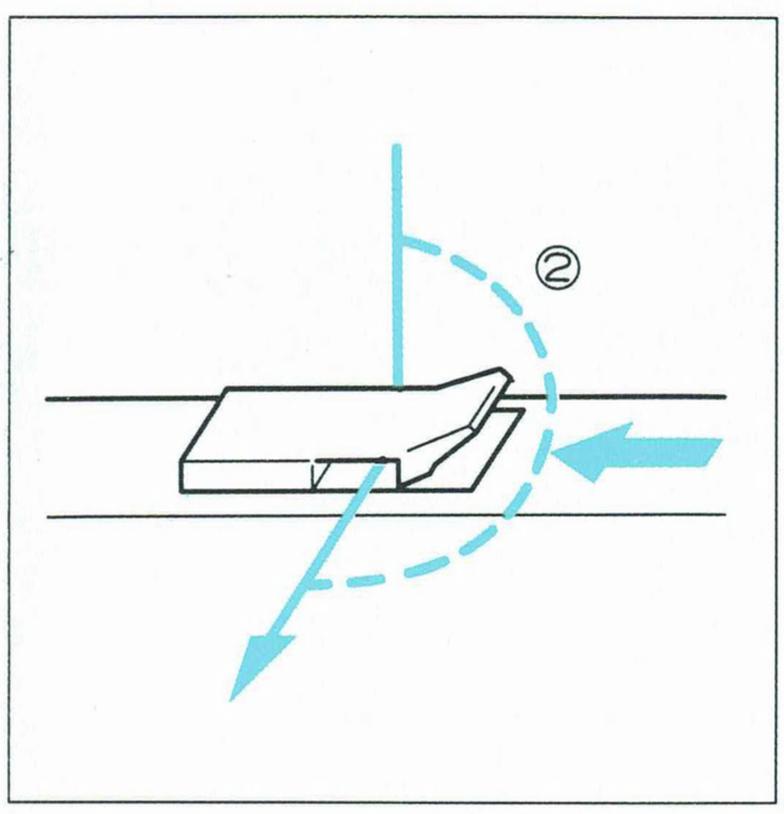
●糸こま

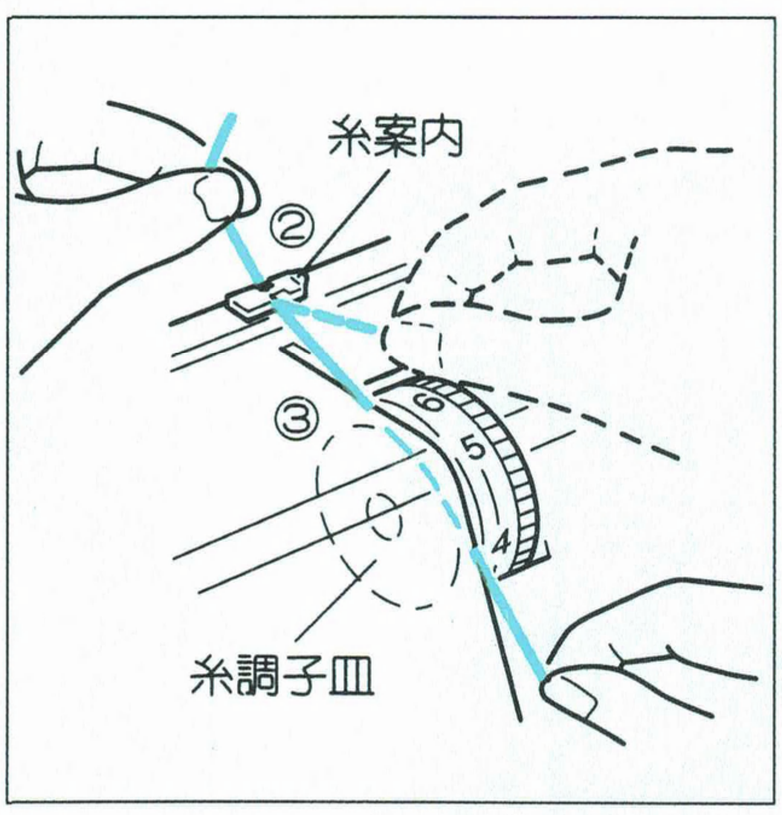


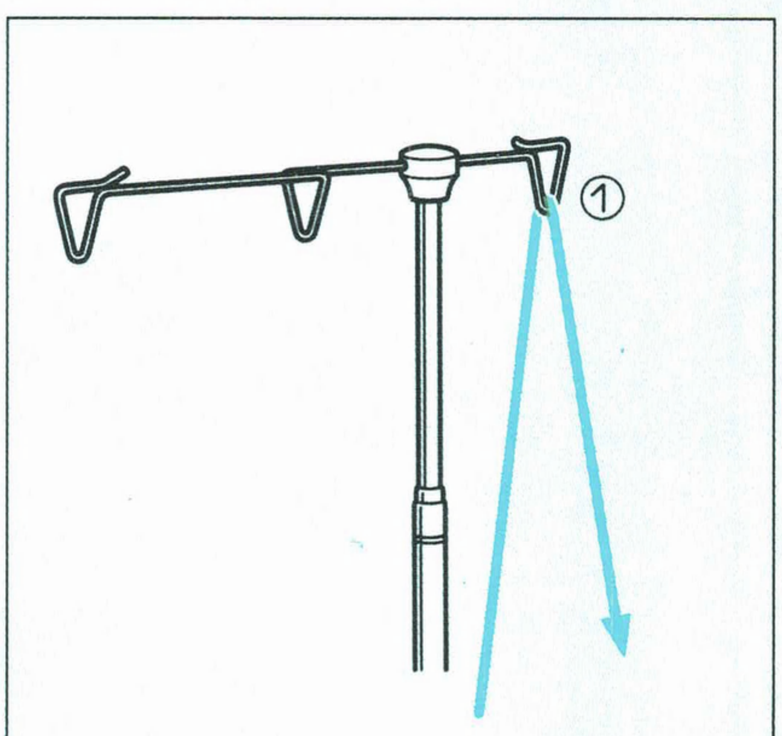
糸の通し方

2 アンダールーパー糸の

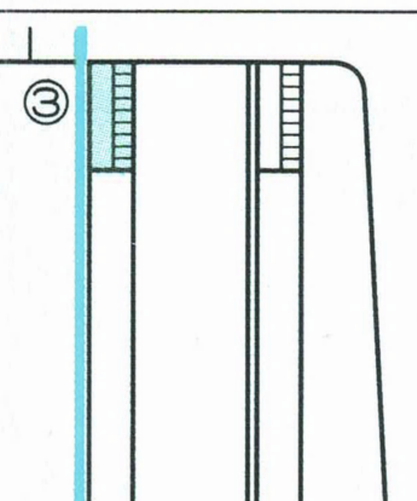
●番号順に糸を通します

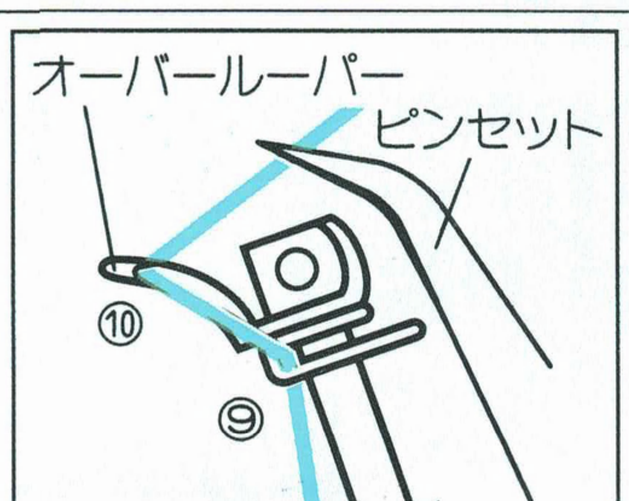


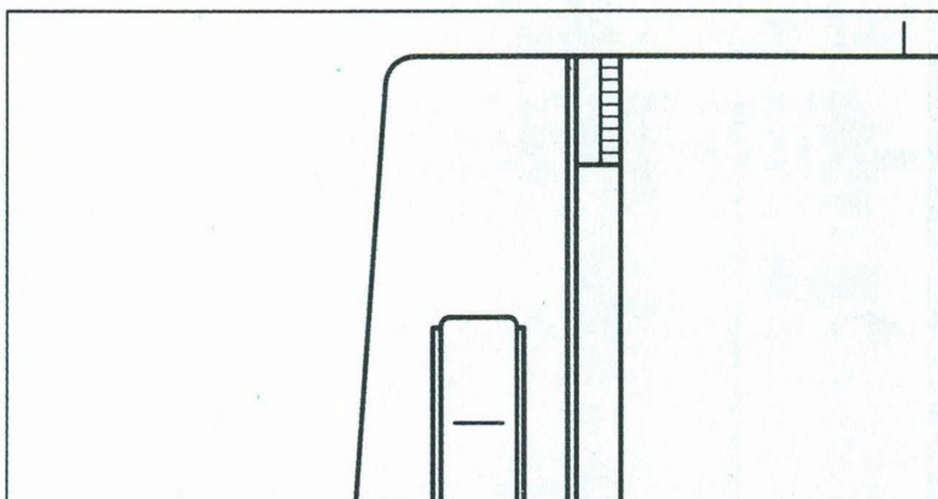




糸を通しやすい位置にします。　※糸は15cmほど引き出しておきます。







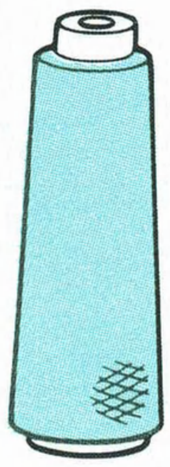
緑色のしるしに糸を通します。

注記 前カバーと布板カバーを開き、青色の

まキャップの取り付け方



チーズ巻き



こま巻き糸

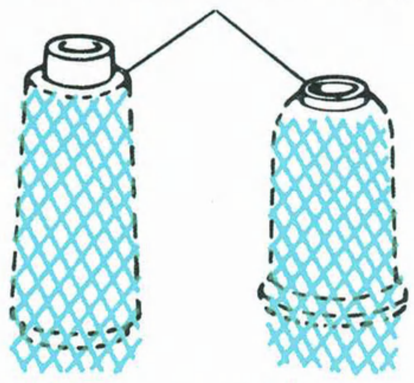


このミシンはチーズ巻き糸と、こま巻き糸が使用できます。

※こま巻き糸は、糸巻きの糸止めみぞのあるほうを下にしてスプール軸にはめてください。

※チーズ巻きの時は、スプールクッションをご利用ください。

ネット上端と糸巻き上端を合わせます。



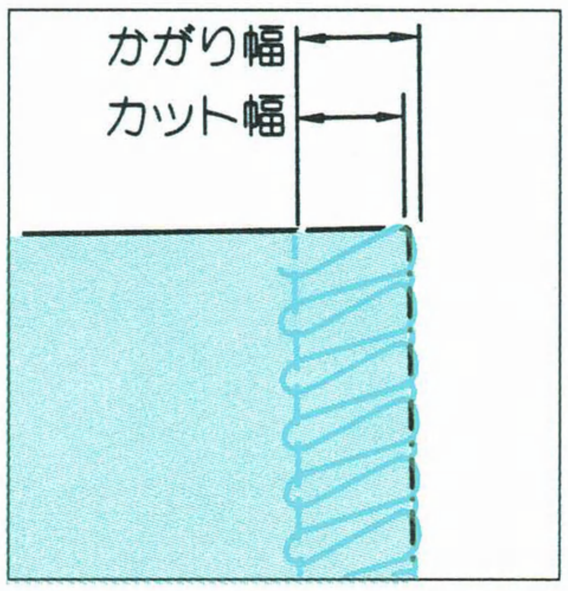
注記

●ウーリーナイロン糸を使用するときや、糸が糸案内からはずれるときは、ネットを付けてお使いください。

●ネットは糸全部がかくれるものを使用してください。短いと糸調子ムラが発生します。

5 カット幅の調節

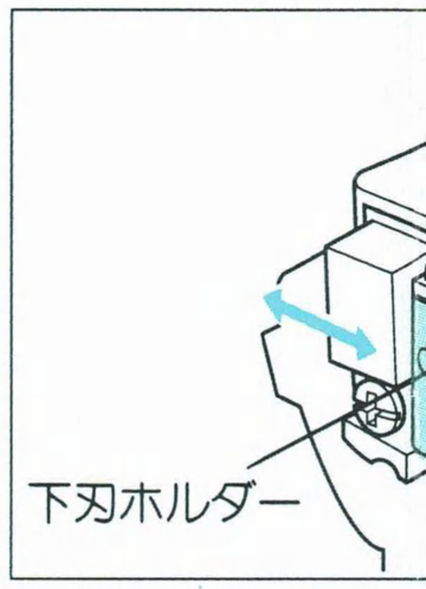
●かがり幅とカット幅　1.カット幅を

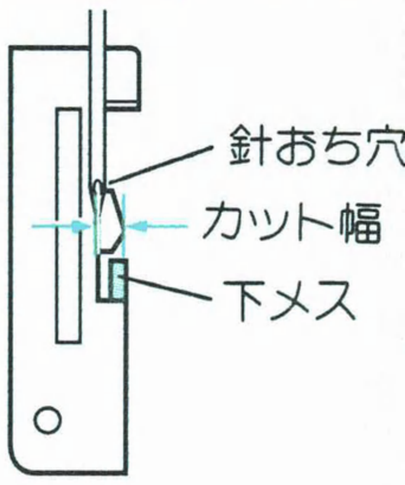


※カット幅は下記のように調節できます。

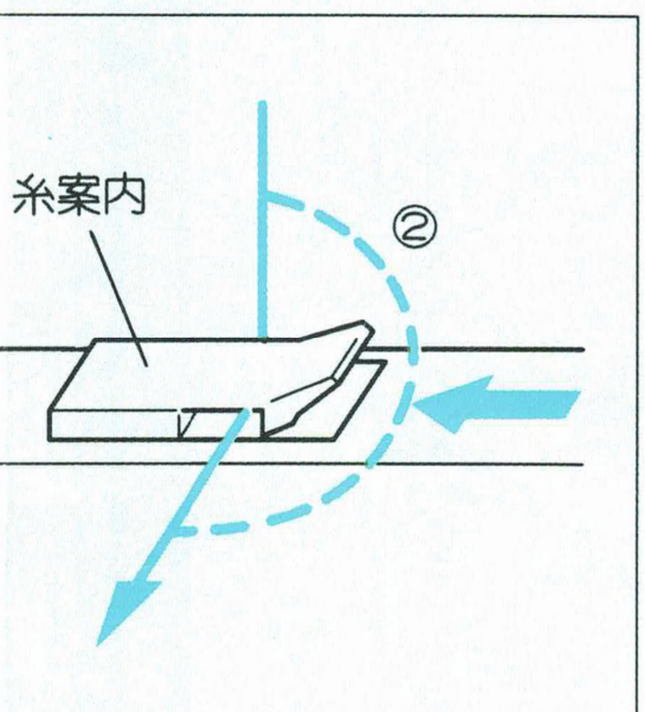
薄地→　　3～4㎜

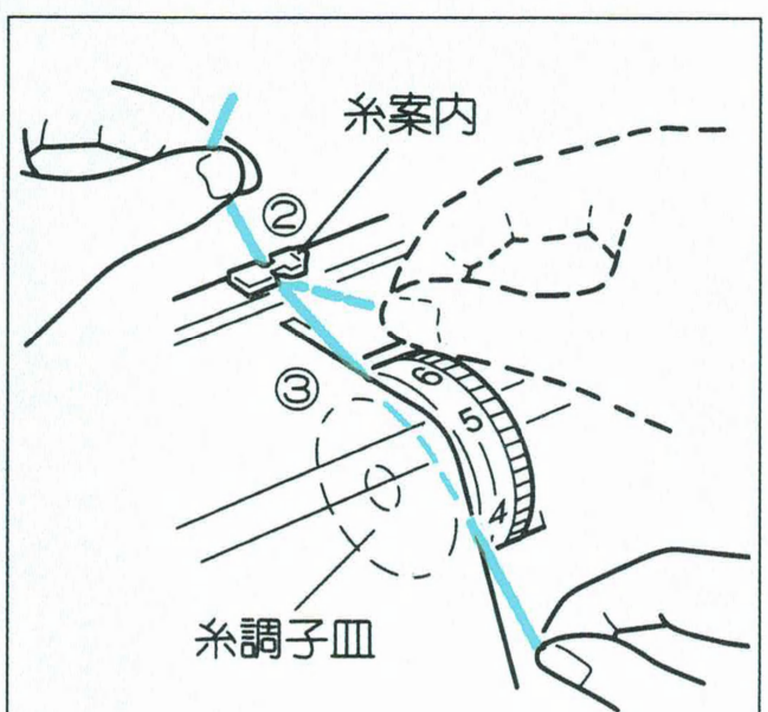
普通地・厚地→3～5㎜

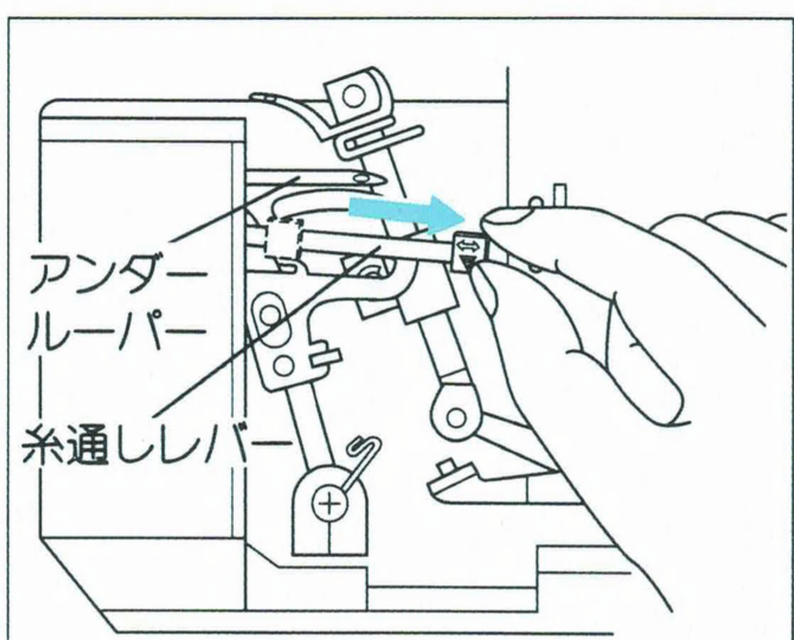




の通し方







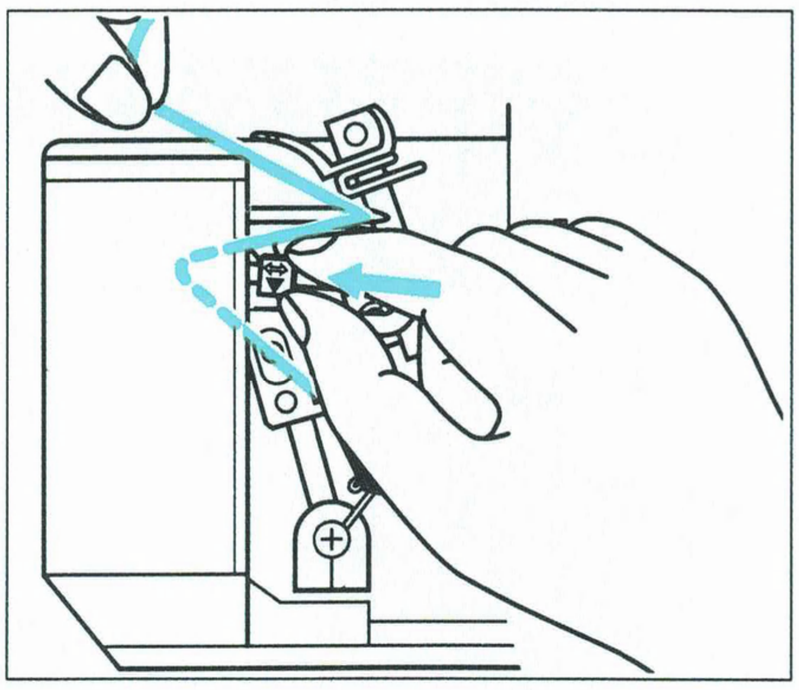
プーリーを回しアンダールーパーの位置を右側へ寄せます。

糸通しレバーを引き出します。

番号順に糸を通します。



アンダールーパ
クに糸をかけま



糸のはしを持
ーをもとの位

注記

糸通しレバー
赤▼印を▲印
さい。



しるしに糸を通します。

ランプの点灯及び交換



⚠注意

●ランプの点灯及び消灯

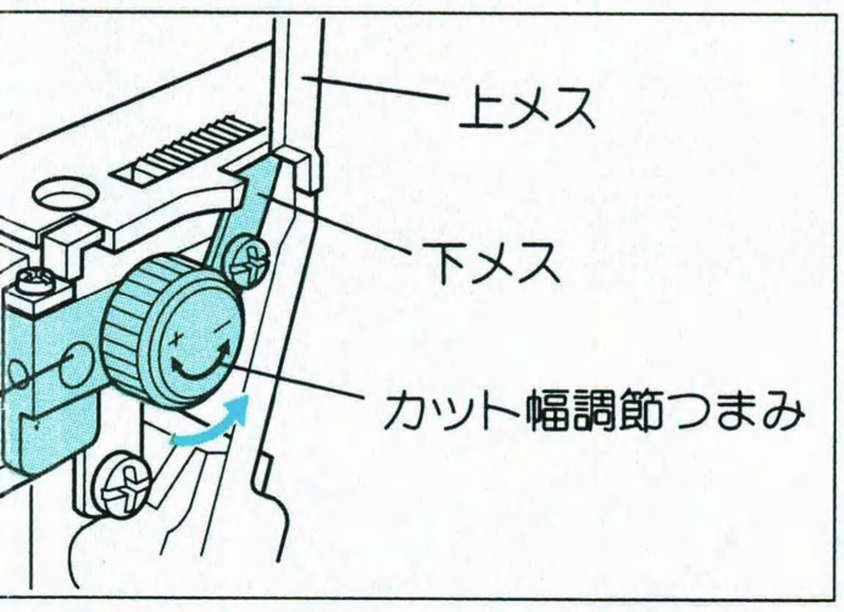
ランプスイッチは電源スイッチと共用になっています。

●ランプの交換

締めねじをゆるめて、ランプカバーをはずします。ラン
回してはずし、新しいランプに取り替えます。

※ランプ(100V、12W)は最寄りのブラザー販売店でお買い

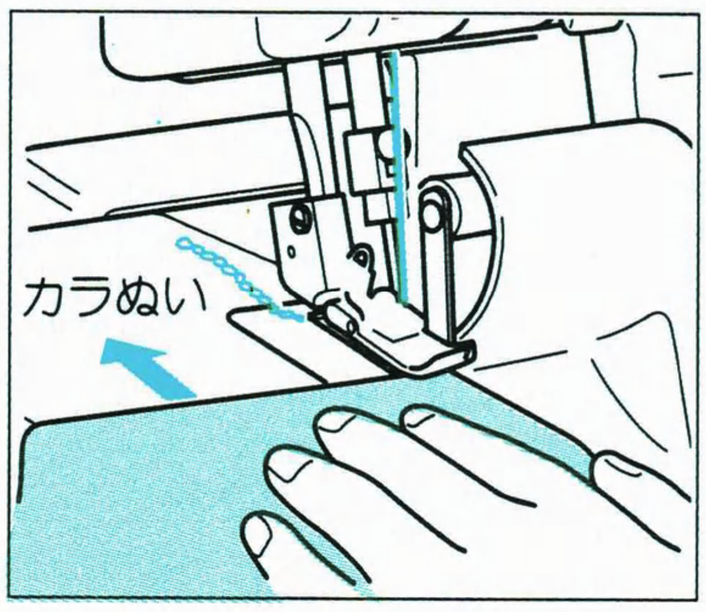
を調節します



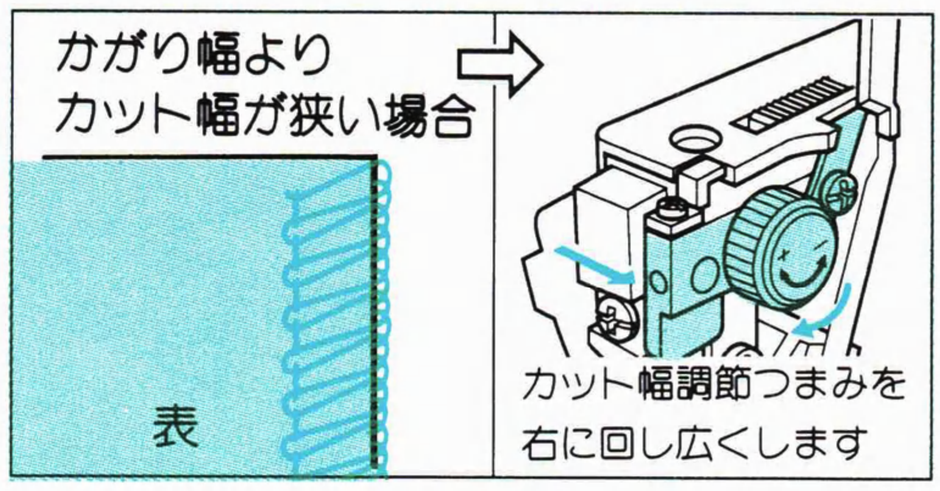
⚠注意
上メスの刃部には絶対に指を触れないでください。ケガをする恐れがあります。

カット幅調節つまみを回し、下メスホルダーを移動させ調節します。(標準3.5㎜)

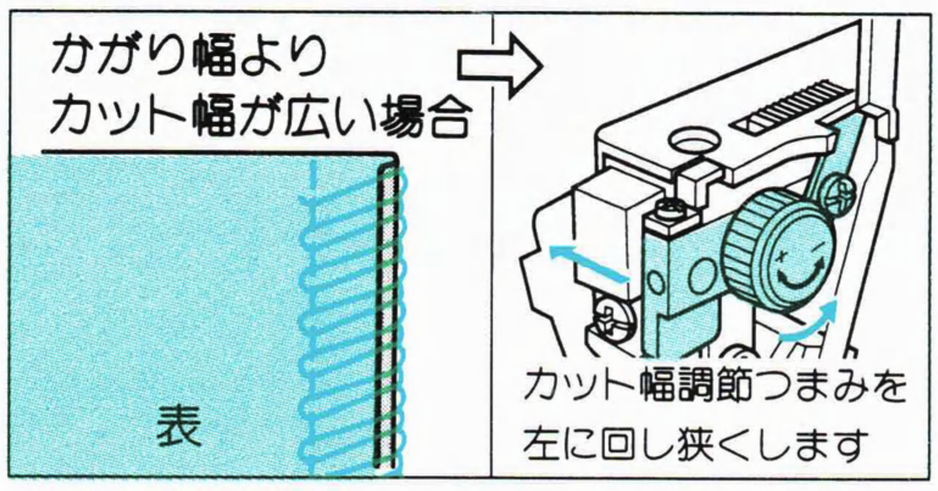
2.試しぬいをします



●こんなときは



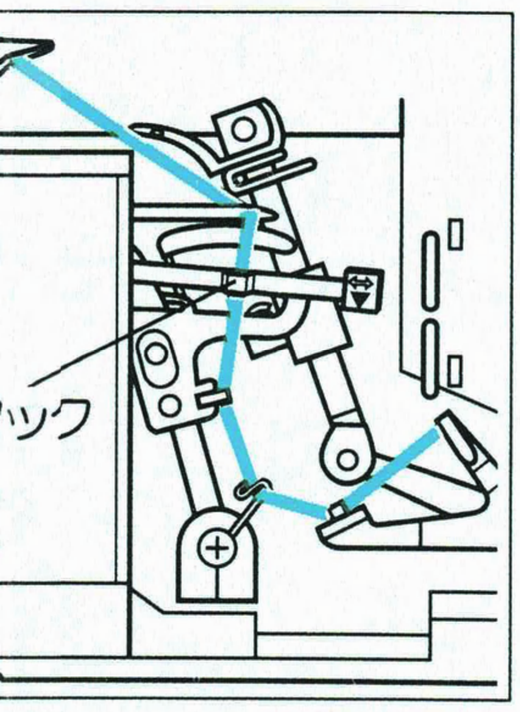
※調節後試しぬいをします。



※調節後試しぬいをします。

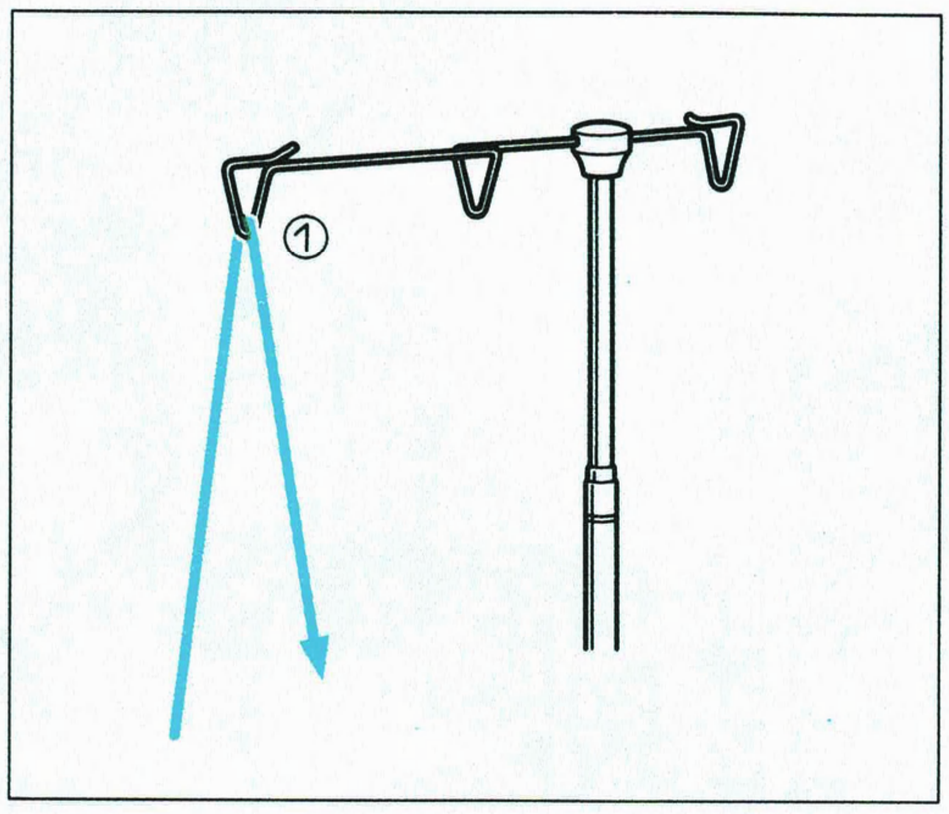
3 針糸の通し方

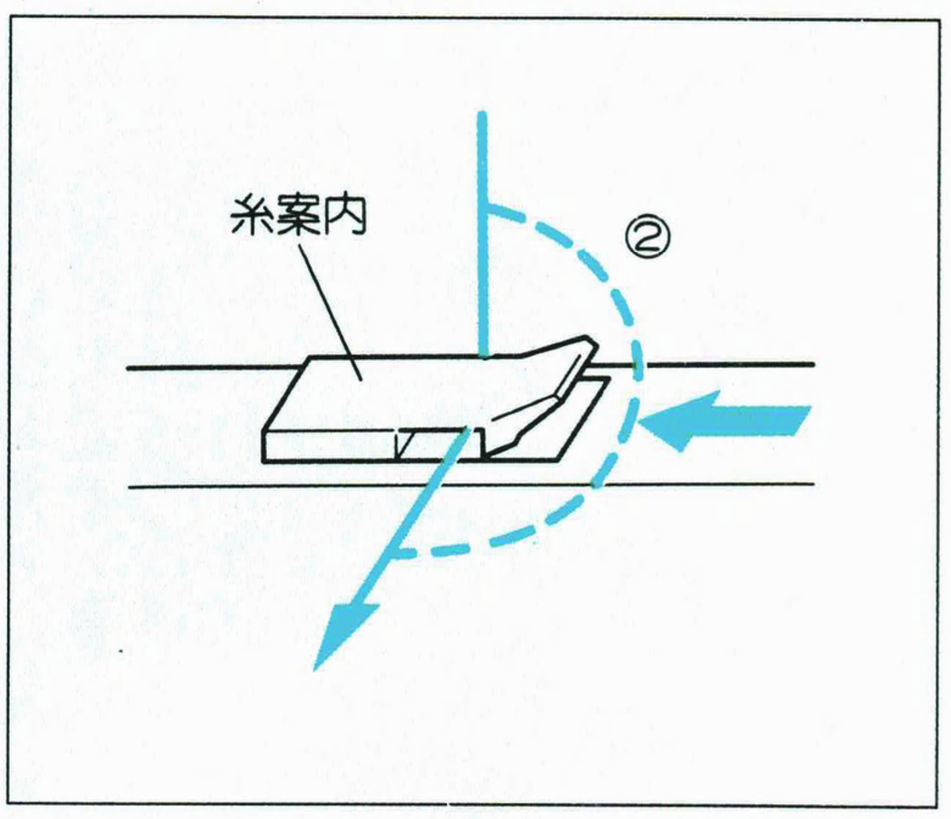
注記 必ず、アンダーおよびオーバールーパー糸を通してから行ってください。



パーに糸を通し、フッます。

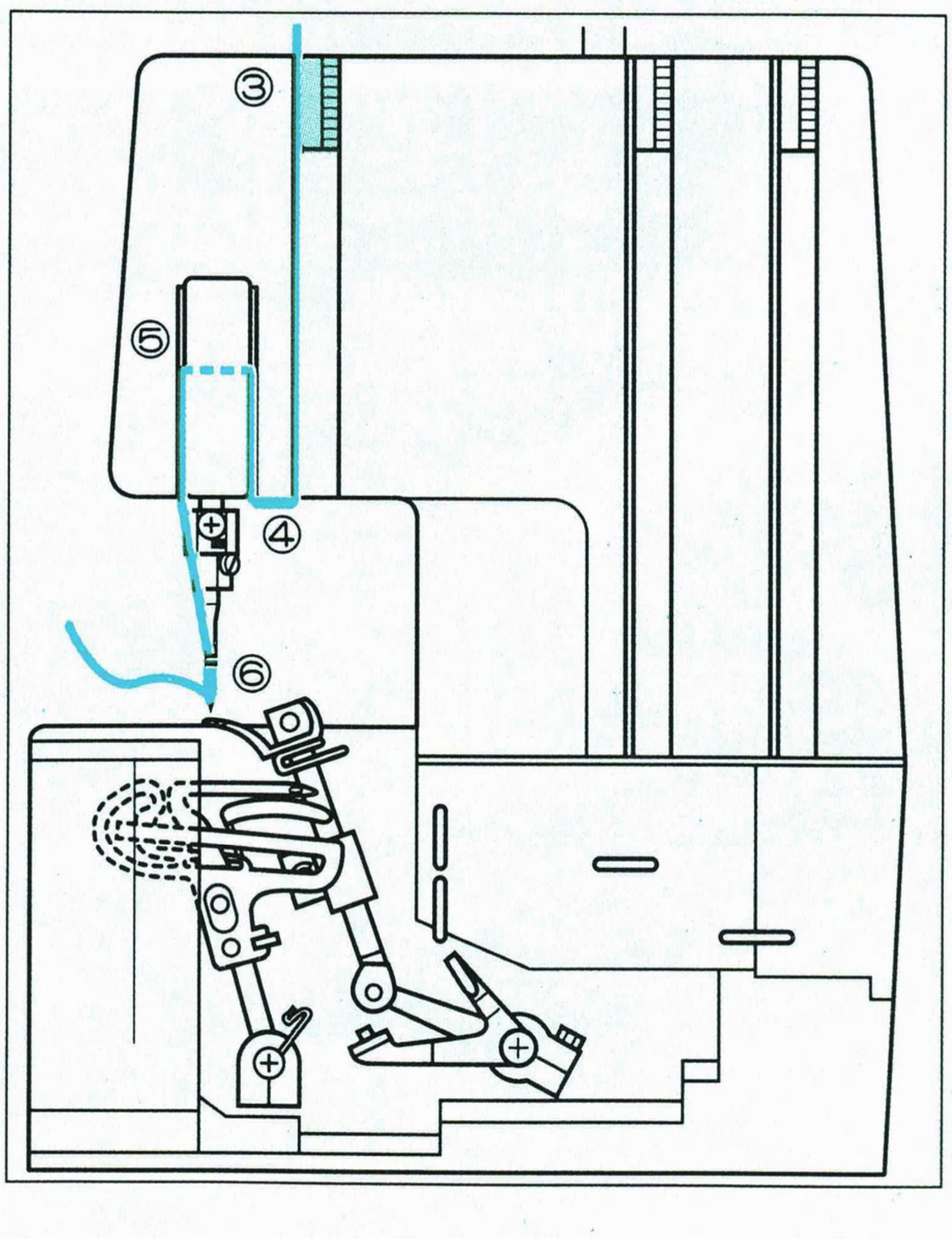
●番号順に糸を通します

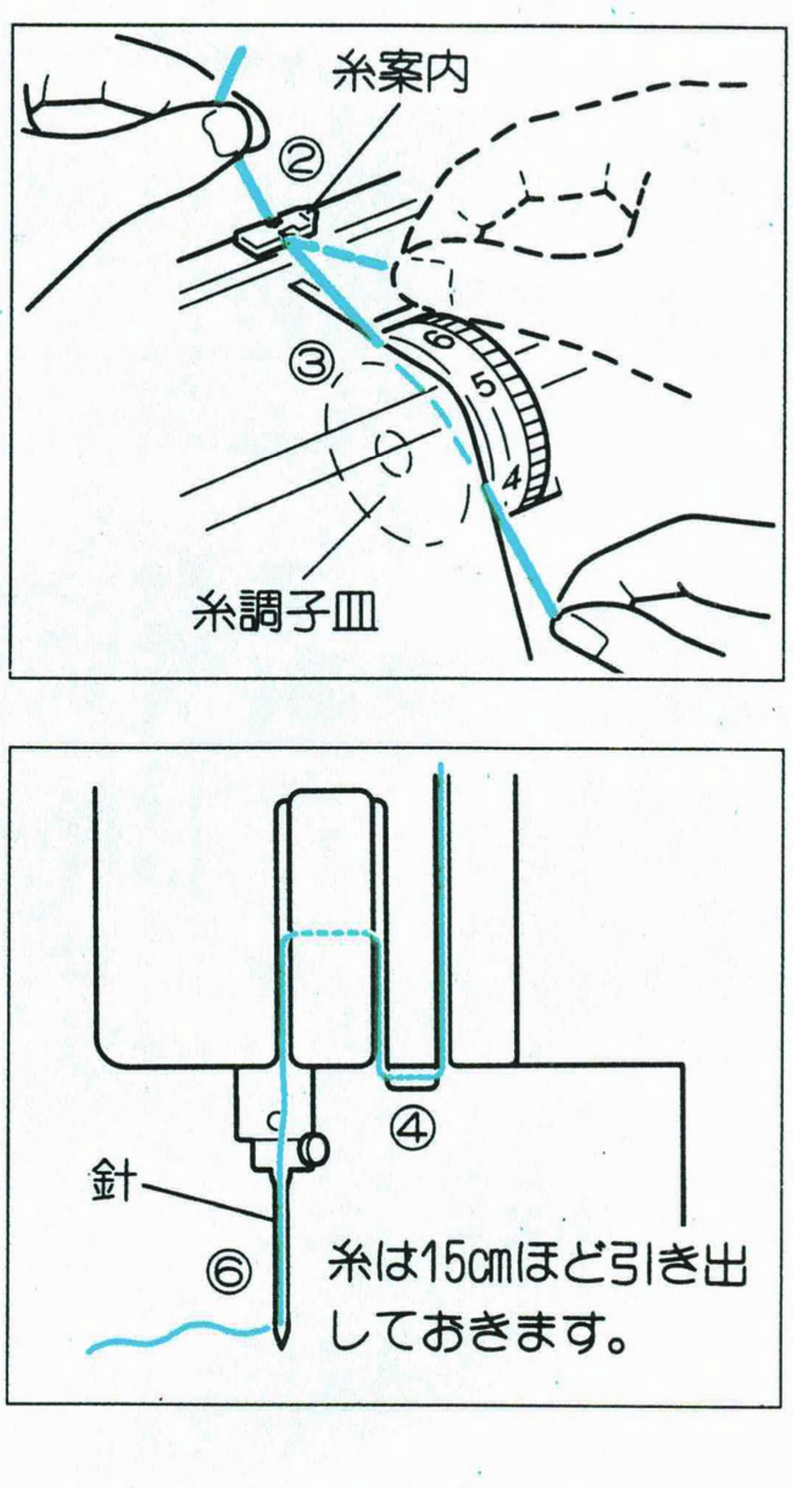




持ちながら、糸通しレバ位置にもどします。

ーをもどすときは、必ず印の位置に合わせてくだ

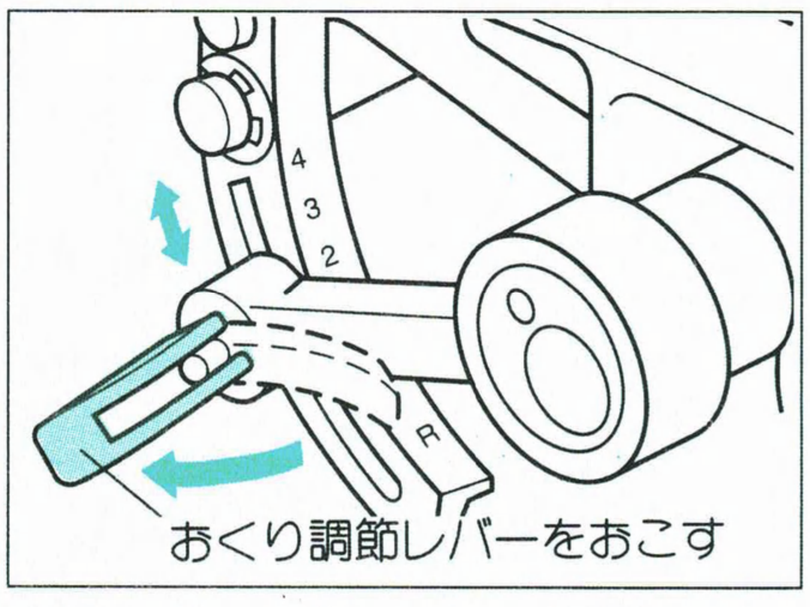




ブを反時計方向に

い求めください。

6 おくりピッチの調節



布板カバーを開き、おくり調節レバーをおこし、目盛りを合わせます。
おくりピッチ調節後、おくり調節レバーを確実にとじます。

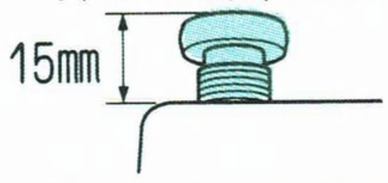
注記
おくり調節の目盛はおくりピッチで、例えば“4”は約4㎜のおくりピッチです。最小2㎜から最大4㎜まで調節できます。“R～2”の目盛は巻きぬい様です。

7 押さえ圧力の調節



ほとんどの場合、押さえ圧力を調節する必要はありませんが、調節される場合には次の要領で行います。

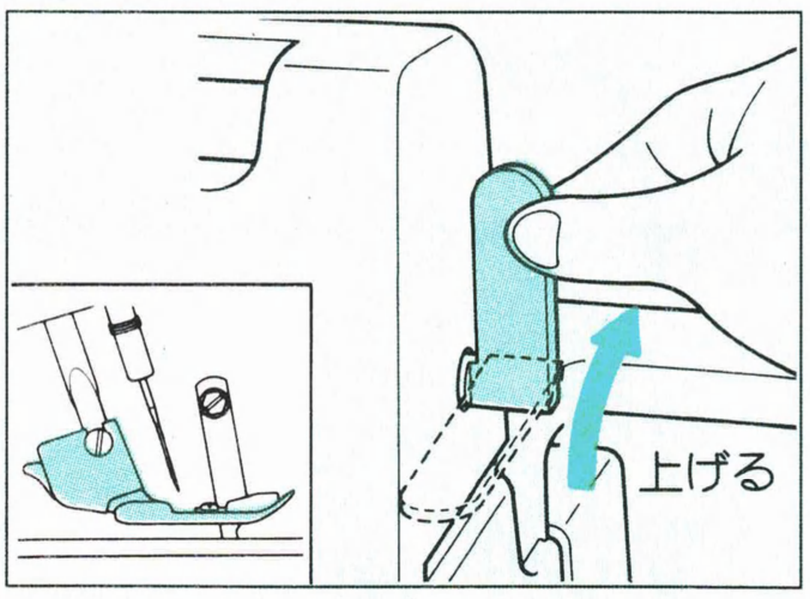
（普通地の目安）
押さえ調節ねじ



薄地 ⇨ 弱く
厚地 ⇨ 強く

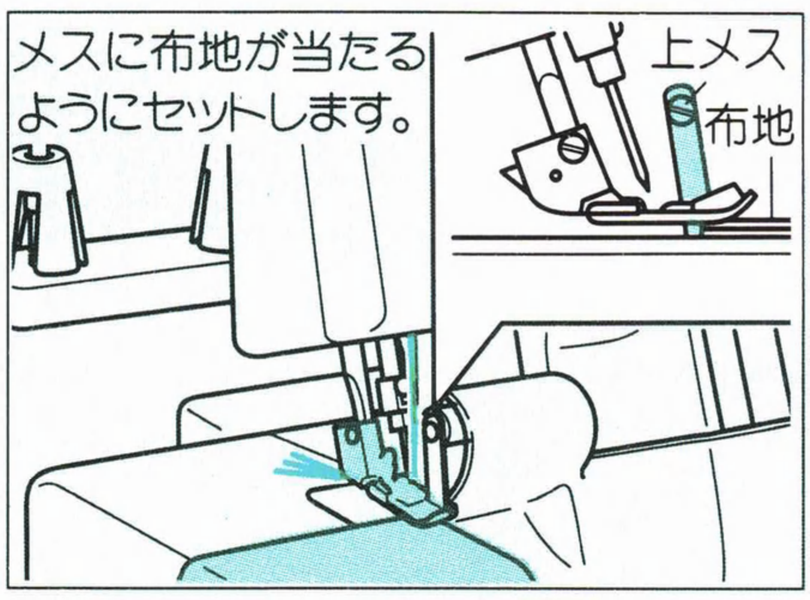
9 縁かがり（試しぬい）

●押さえ上げレバー



押さえ上げレバーを上げます。

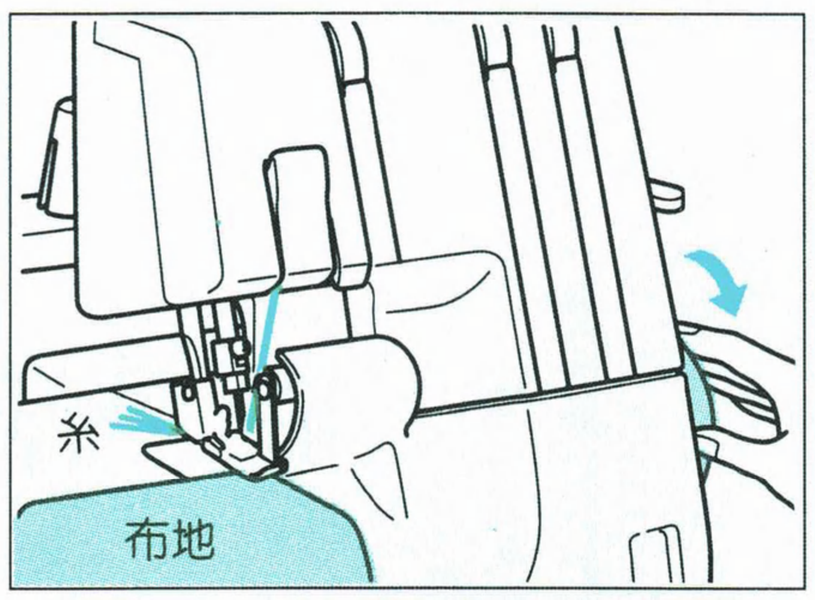
1.試し布をセットします



布地をセットし布押さえを下げます。

注記
前カバーと布板カバーは閉じてください。

2.スタートします

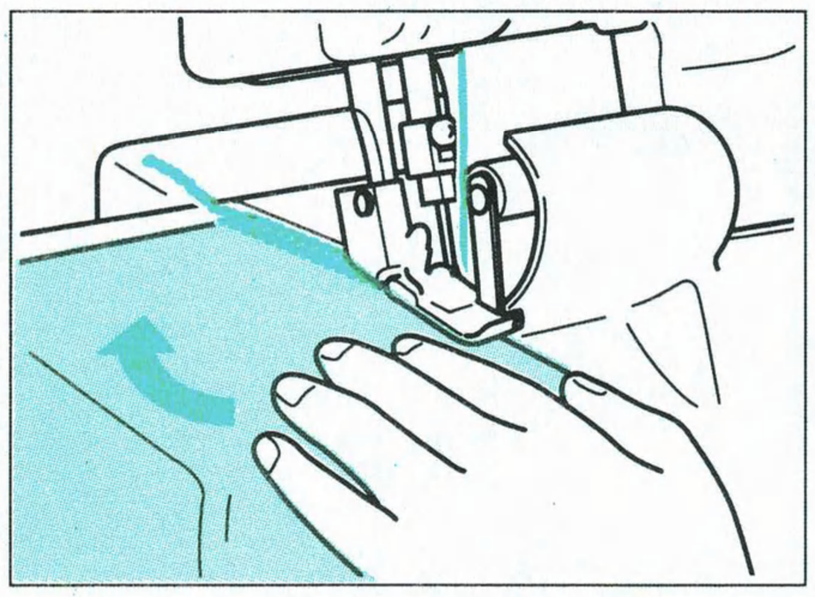


プーリーを手前側に2～3回静かに回し、糸のからみぐあいを確かめ、ゆっくりぬい始めます。

注記
布地は自動的に送られますから、手は布地をぬいたいと思う方向に導くだけにしてください。
布地を無理に引張らないでください。

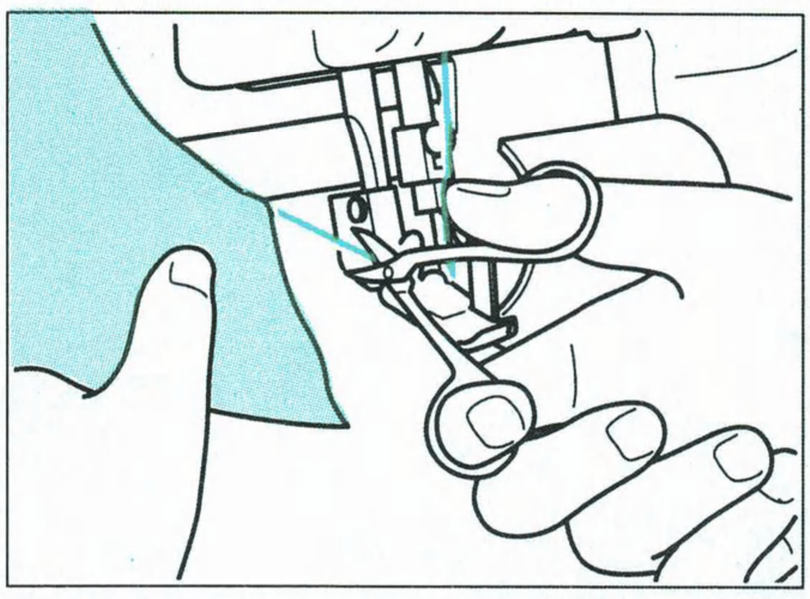
11 裁縫中に糸切れしたとき

1.布地をはずします



ミシンを低速にし、布地を回して外側へ導き、布押さえよりはずします。

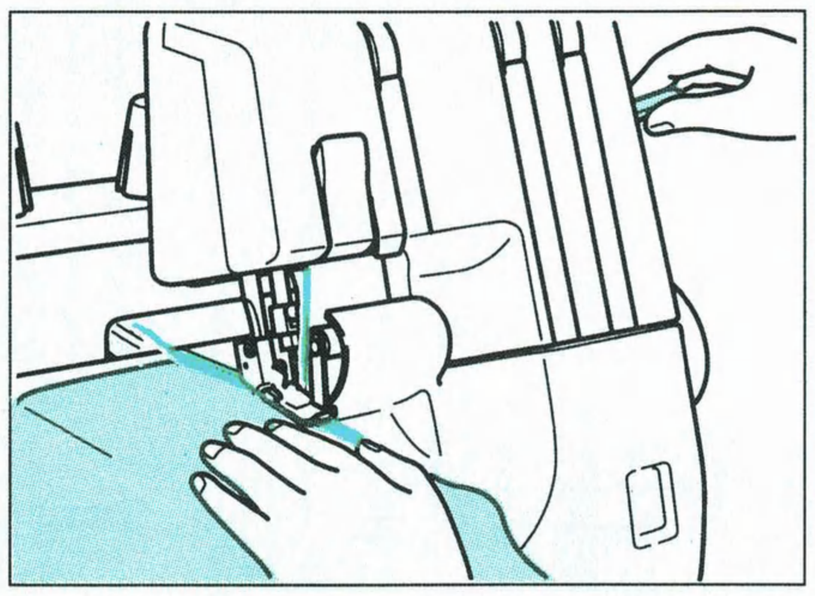
2.残りの糸を切ります



糸切れした糸を通し直します。

注記
アンダーまたはオーバールーパー糸が切れた場合は、針糸を針からはずし、切れた糸を通し直してください。

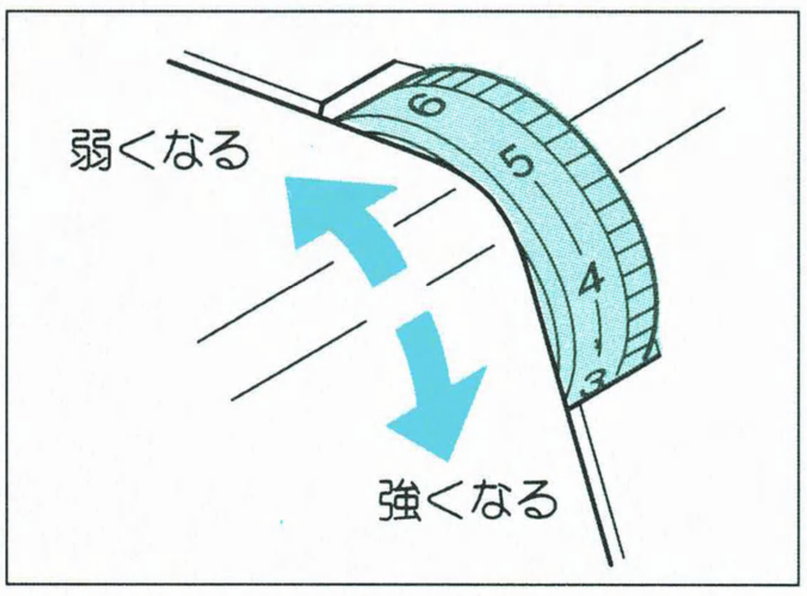
3.布地をセットします



糸切れしたところより3㎝～5㎝前の部分を布押さえにセットし、前にぬったぬい目の上からぬいます。

8 糸調子

●糸調子ダイヤル



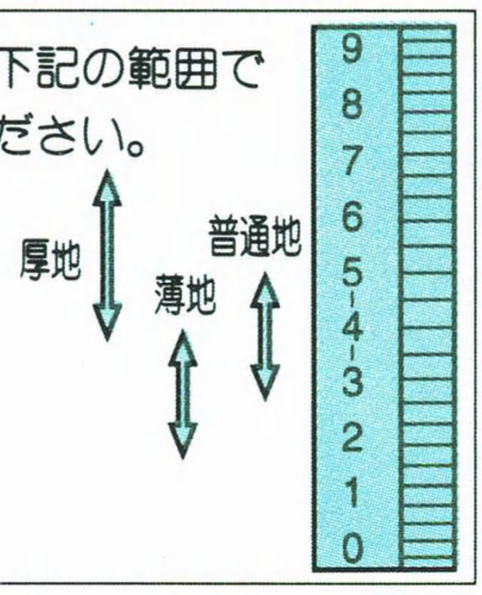
弱くなる…表示数字を小さく(3~1)する
標準……表示数字「4」
強くなる…表示数字を大きく(5~9)する

●布地の種類と糸調子ダイヤルの調節目安

①下記のように合わせ、試しぬいをしてください。

糸調子ダイヤル	
針糸用	4
オーバールーパー糸用	4
アンダールーパー糸用	4

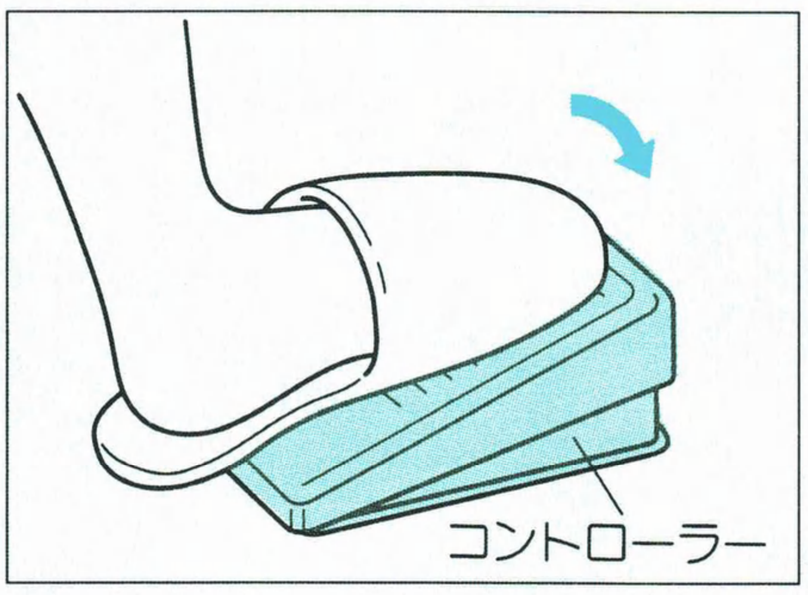
②布厚により下記の範囲で調節してください。



注記

①糸調子は、布地の種類や糸の太さなどによって異なりますから、布地や糸に合った糸調子をとってください。
②糸調子の手順は、最初に針糸から正しい糸調子に合わせてください。

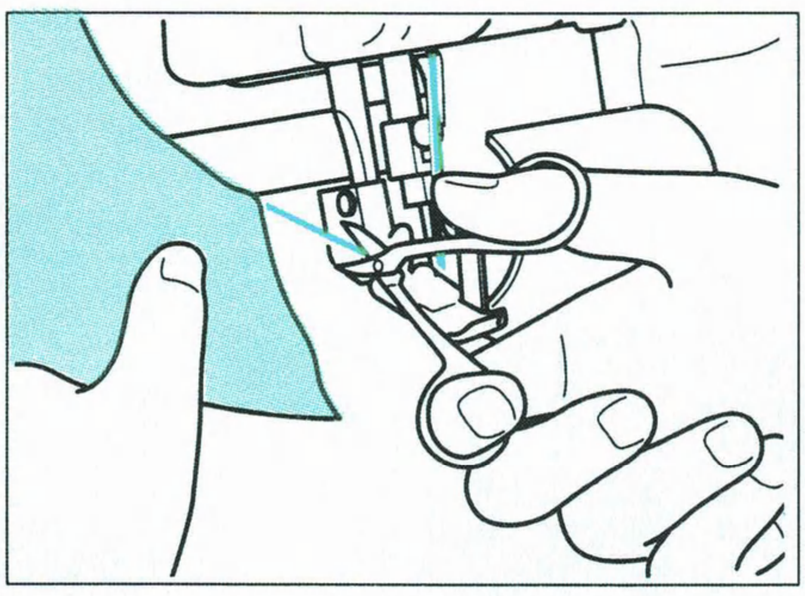
3.速度



コントローラーは強く踏むほど速くなります。

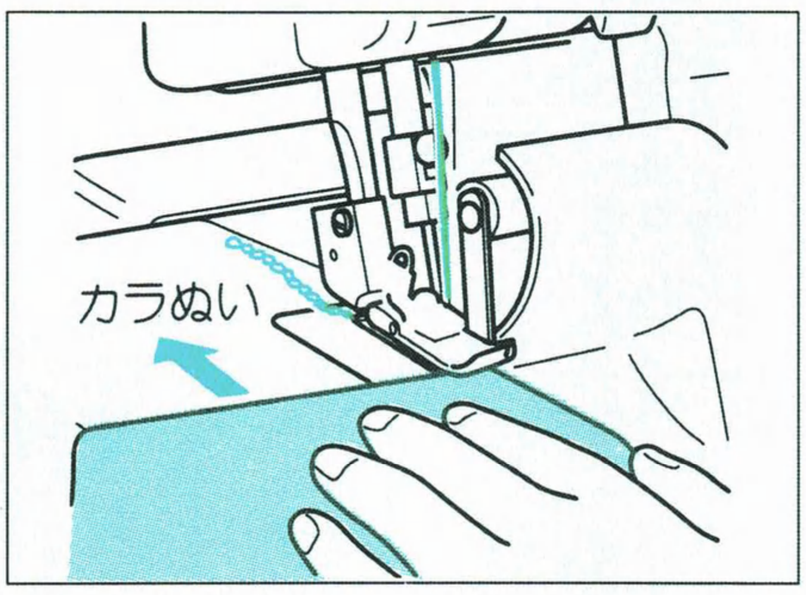
⚠注意
コントローラーの上に、ものをのせないでください。

4.ぬいものをはずすには



①布地の端までぬい終わりましたら、布地のないままミシンを低速で運転します。
②布地の端より約5cm糸を残して切ります。

●つづけてぬうには



布押さえを上げずにそのまま次の布地をぬいます。

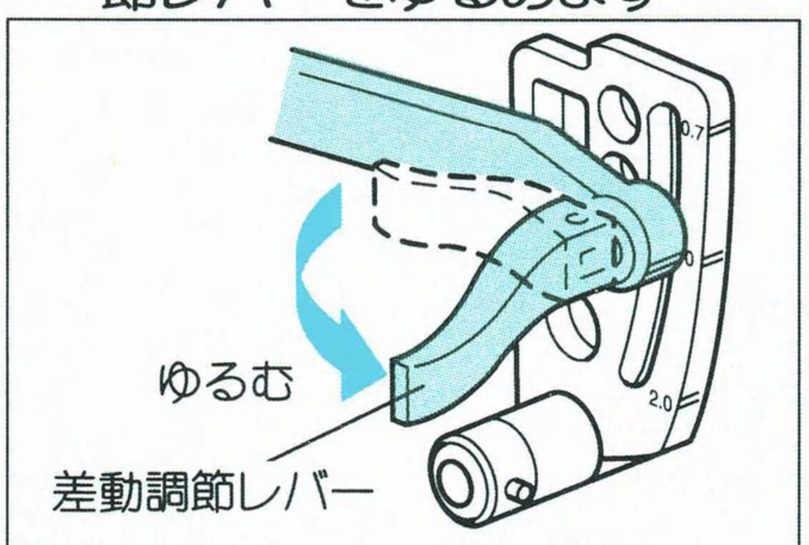
注記

からぬいができているときは、布押さえを上げる必要はありません。
カラぬいとは……布地がない状態で糸だけでぬうことです。

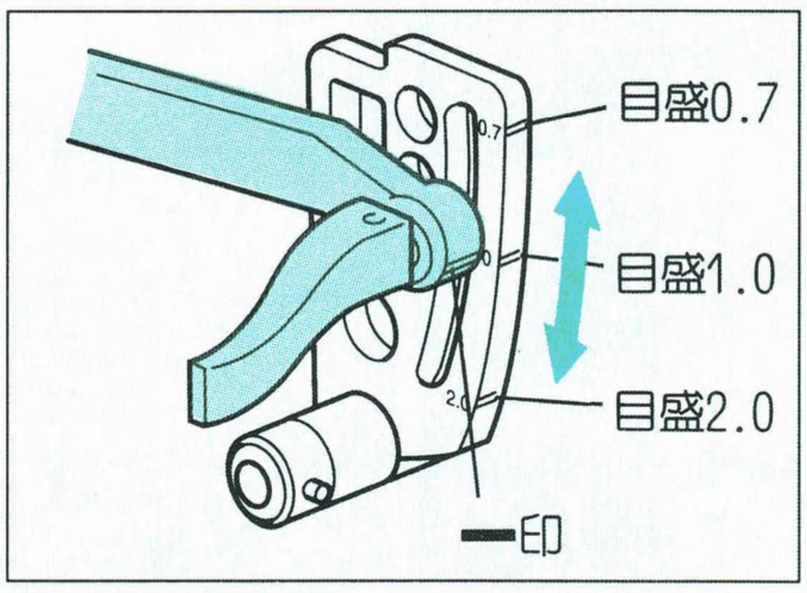
12 差動送りの調節

毛糸・編地・ニット・ジャージなど伸縮性のある布地をぬうときに差動

1.布板カバーを開き、差動調節レバーをゆるめます



2.目盛を合わせます

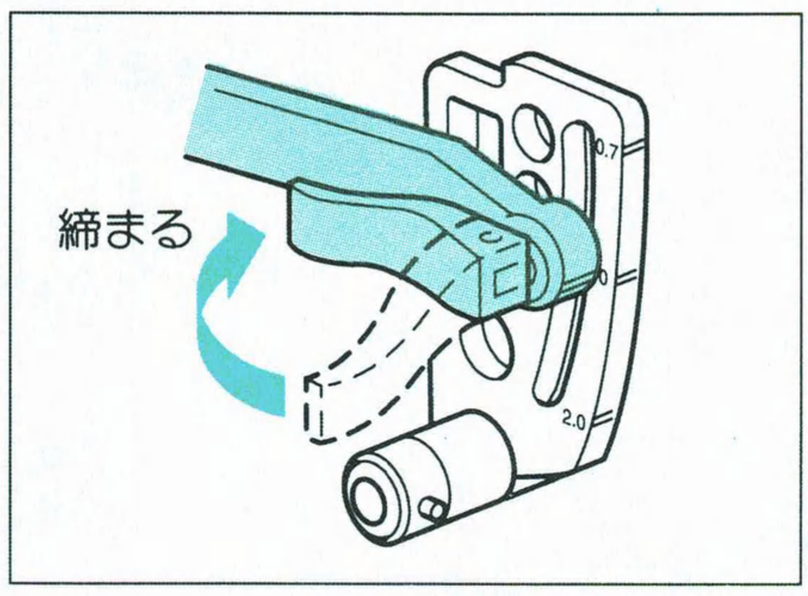


差動調節レバーのー印を目盛に合わせます。

注記

差動送りの調節は0.7~2.0(差動比)まで調節できます。

3.差動調節レバーを締めます



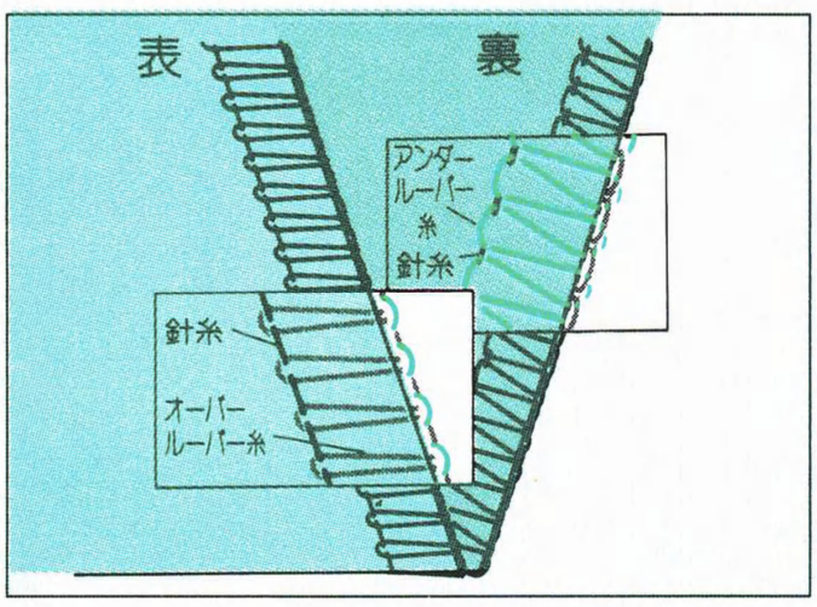
差動比調節後、差動調節レバーを確実に締め、布板カバーを閉じます。

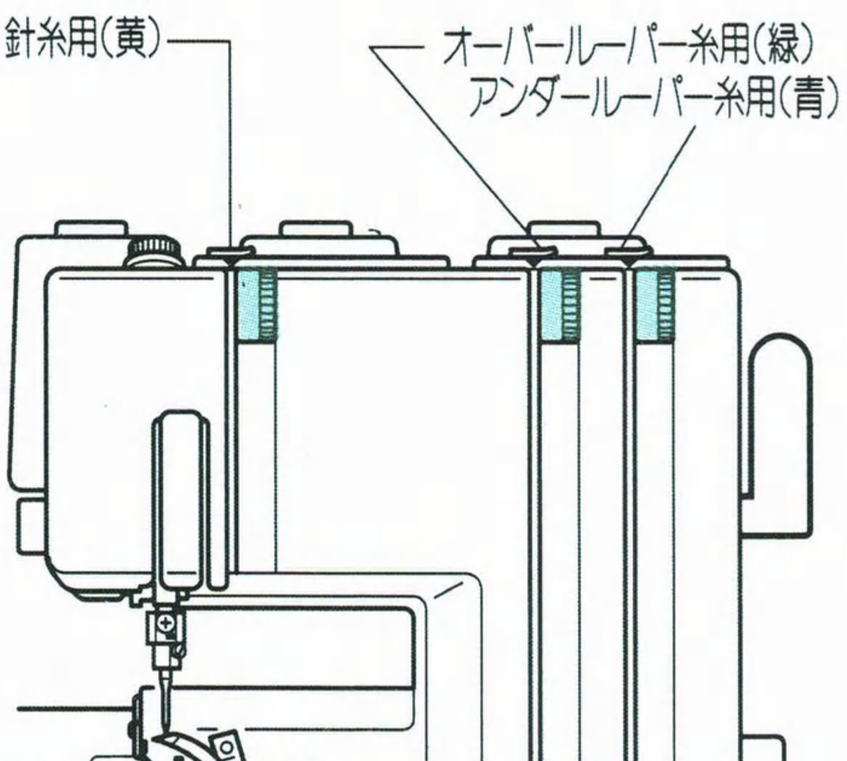
⚠注意
調節するときは必ず電源を切ってから行ってください。

※差動送りとは、布地を伸ばしたり縮めたりしながらぬうことができる装置のことです。例えば、ぬい目ピッチを"3"(約3mm)差動比"2.0"にした場合、前の送り歯は約6mm布地を送り、後の送り歯は3mm布地を送ります。従って布地を縮めながらぬえます。また、差動比"1.0"にした場合、前の送り・後の送りともに歯は約3mm布地を送ります。従って差動はかかりません。

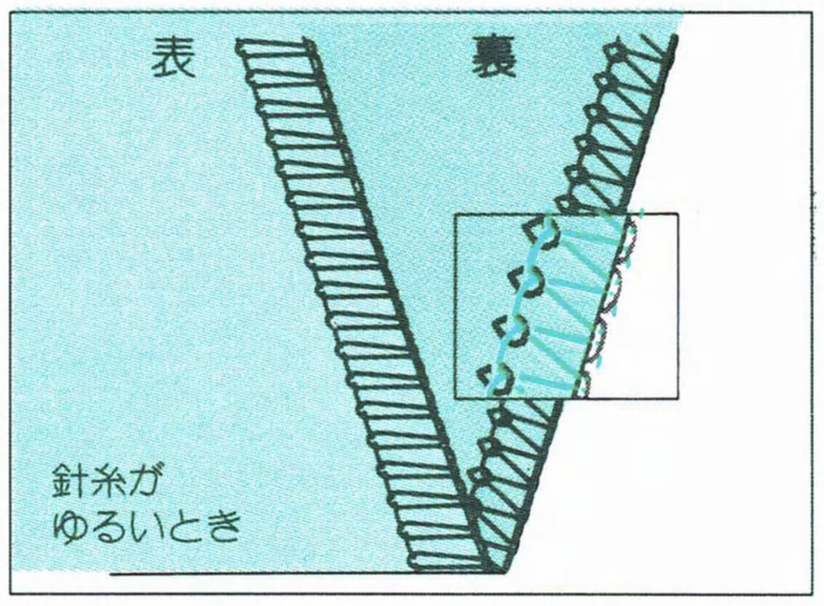
応用例
薄地のパッカリング防止 ストレッチロック
普通の縁かがりぬい
伸縮性のある布地のめくれ防止 シャーロック

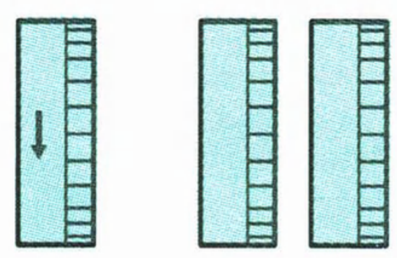
●正しい糸調子





●こんなときには……



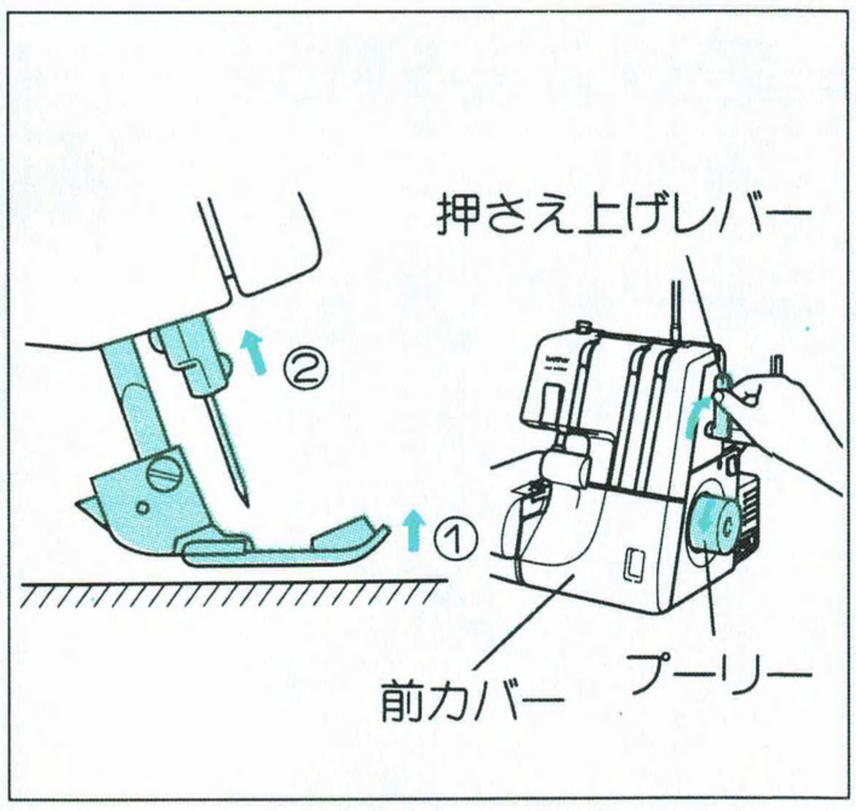


針糸を締めてください。

黄　色

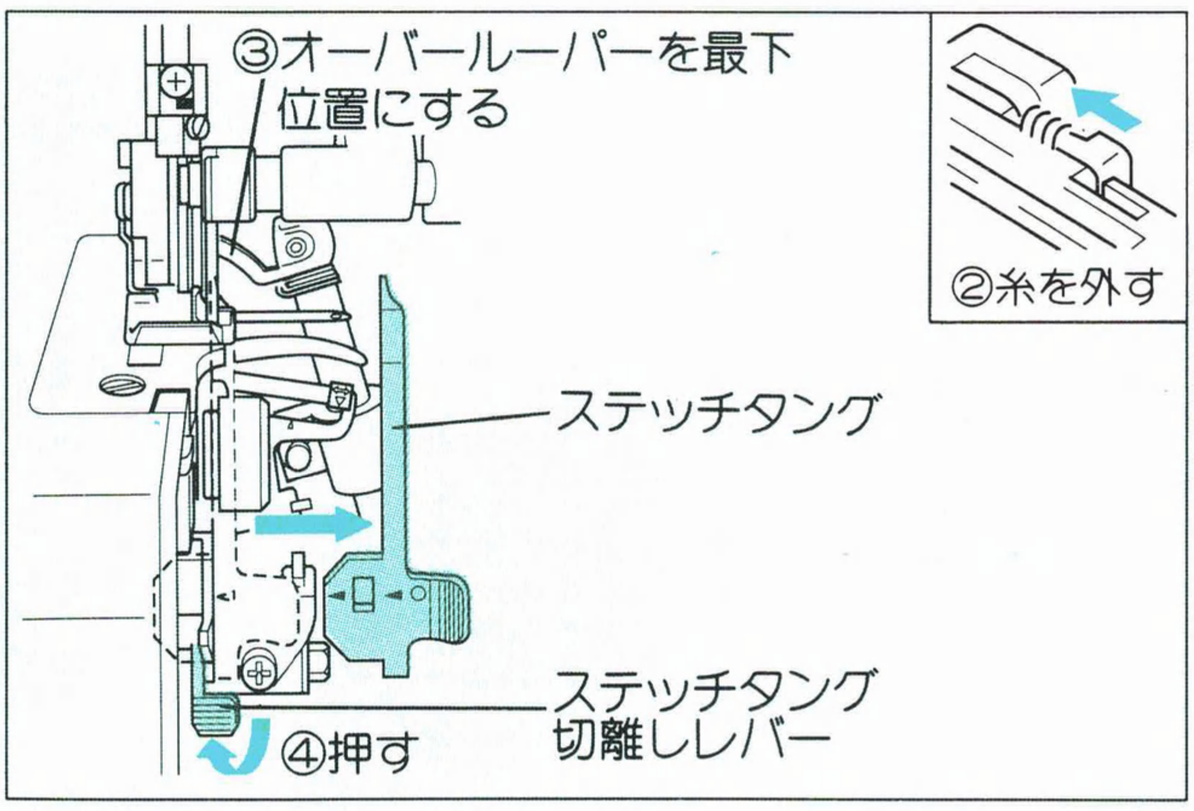
10 巻きぬい・細口ックぬい

1.布押さえを上げます。



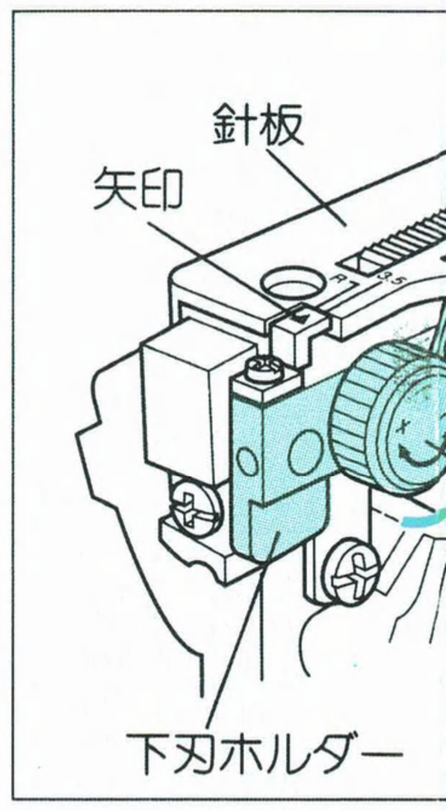
プーリーを回し、針を最上位にします。

2.巻きぬい用ステッチに切り換えます。



①前カバーを開けます。
②移動ステッチタングにからんでいる糸をうしろへ引き外します。
③プーリーを回しオーバールーパーを最下位にします。
④ステッチ切り離しレバーを押しステッチタングを取り外します。

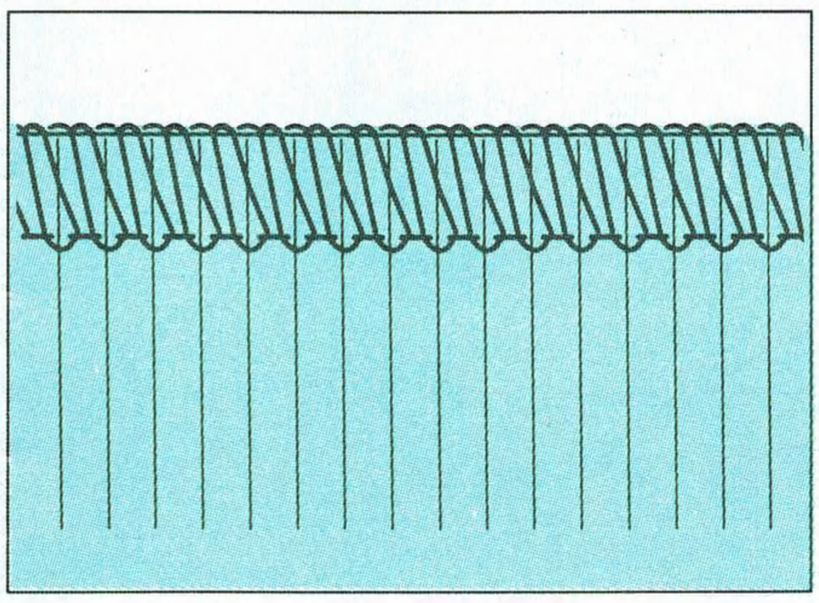
3.カット幅を調



カット幅調節つまみ
回し、下刃ホルダー
板の基線“R”に合

送りを調節します。（この項はTE4-B235(差動送り付き)ミシンをご使用の方のみに適応します。TE4-B233ミシンをご使用の方には関係ありません。）

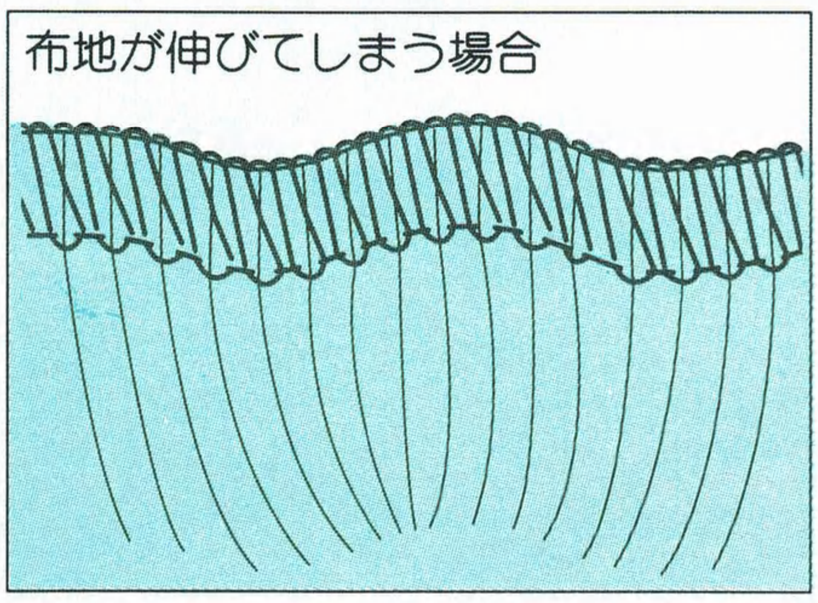
●ぬい上り



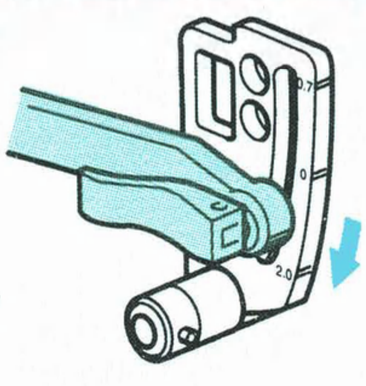
	差動送りのはたらき
止	布を伸ばしながら、ぬいます。
	普通に、ぬいます。
ぬい伸	布を締めながら、ぬいます。

●こんなときには

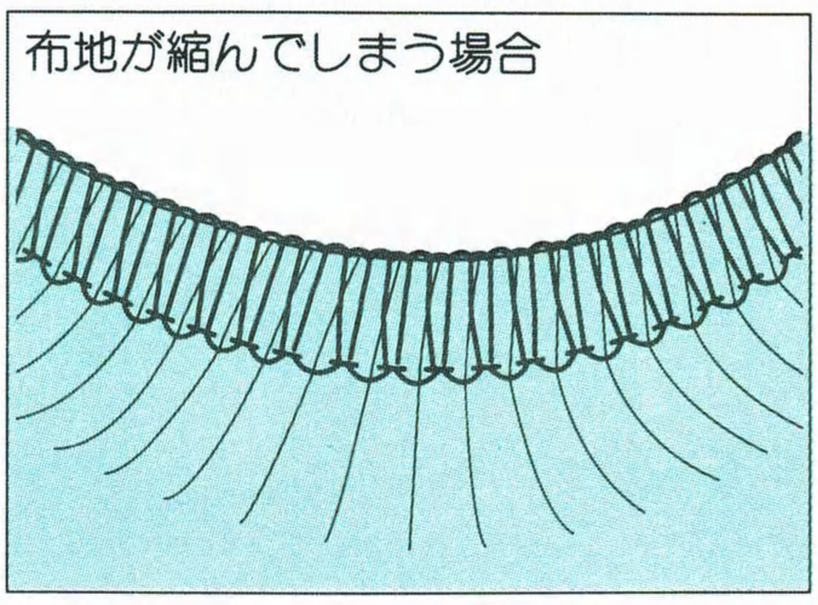
布地が伸びてしまう場合



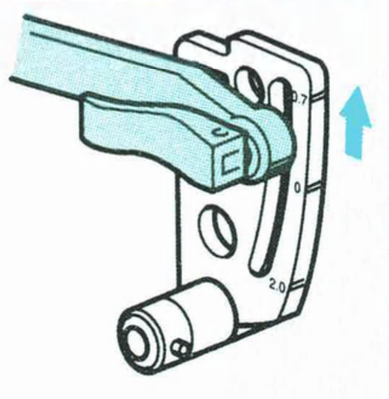
差動送り調節レバーを現在セットされている位置より下へセットします。

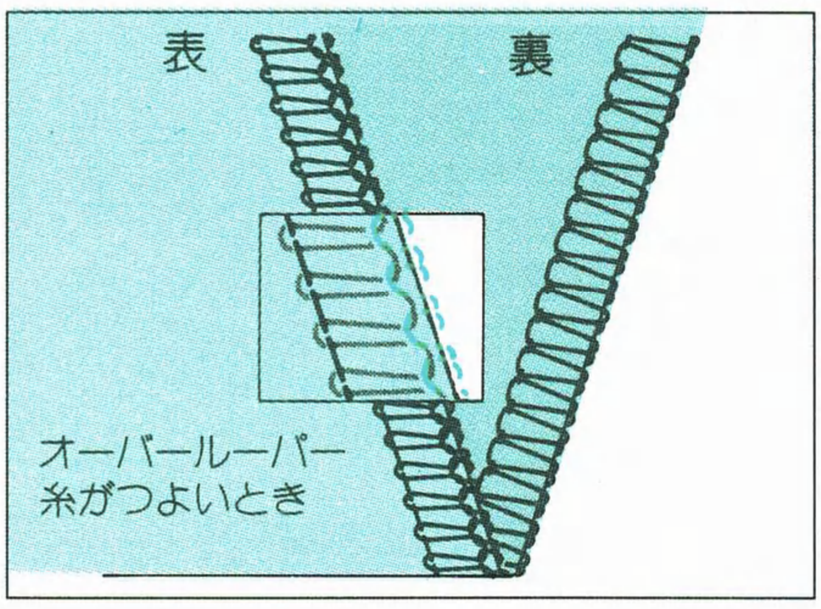


布地が縮んでしまう場合

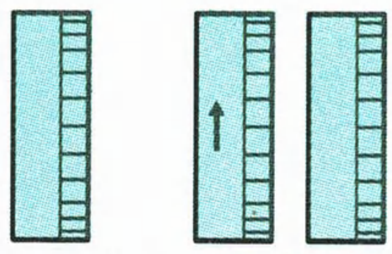


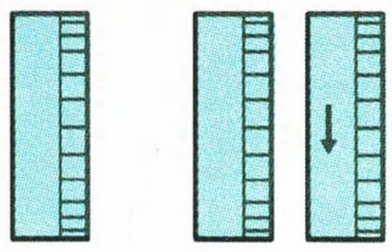
差動送り調節レバーを現在セットされている位置より上へセットします。

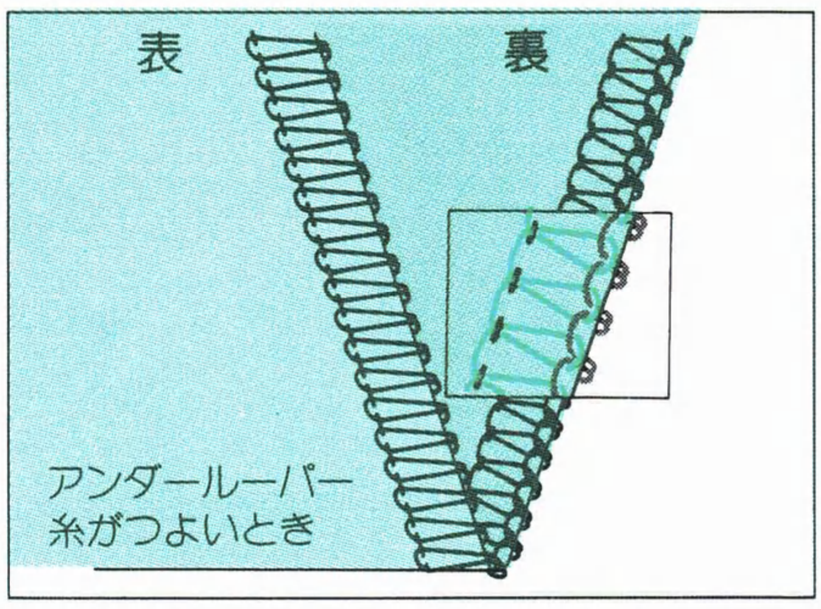




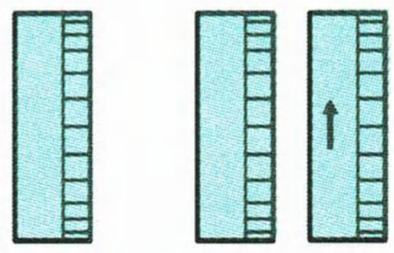
オーバールーパー糸用をゆるめます。
それでも正しい糸調子がとれない場合はアンダールーパー糸用を締めてください。

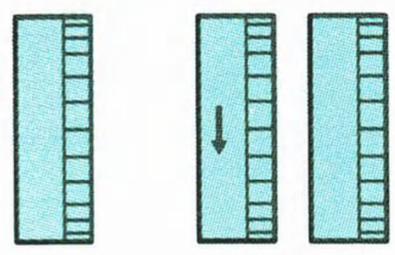






アンダールーパー糸用をゆるめます。
それでも正しい糸調子がとれない場合はオーバールーパー糸用を締めてください。





調節します。



を矢印方向に
の矢印▲を針
わせます。

4.おくりピッチを〈R~2〉にします。

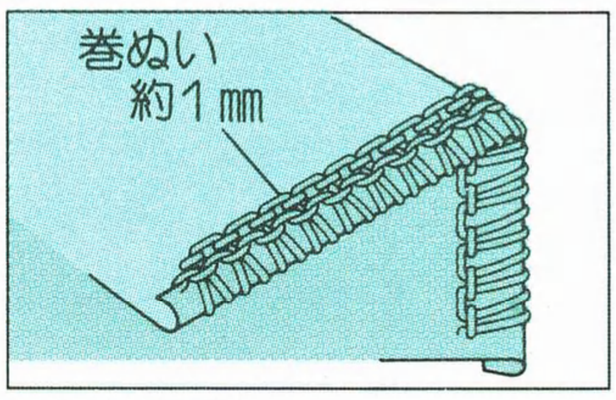


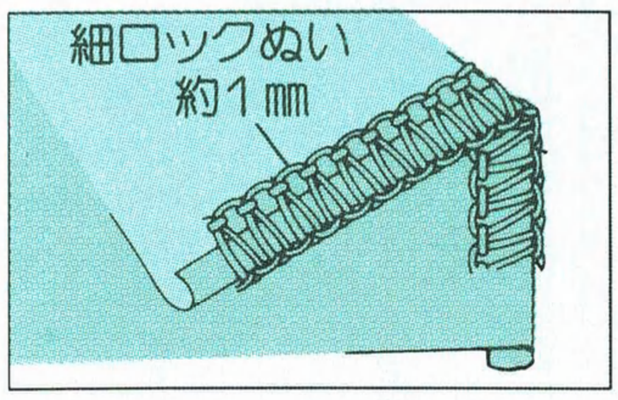
布板カバーを開け、おくり調節リンクの▼印を、目盛〈R~2〉の範囲に合わせます。ぬい目調節後、おくり調節レバーを確実に締め、布板カバーを閉じます。

5.試しぬい

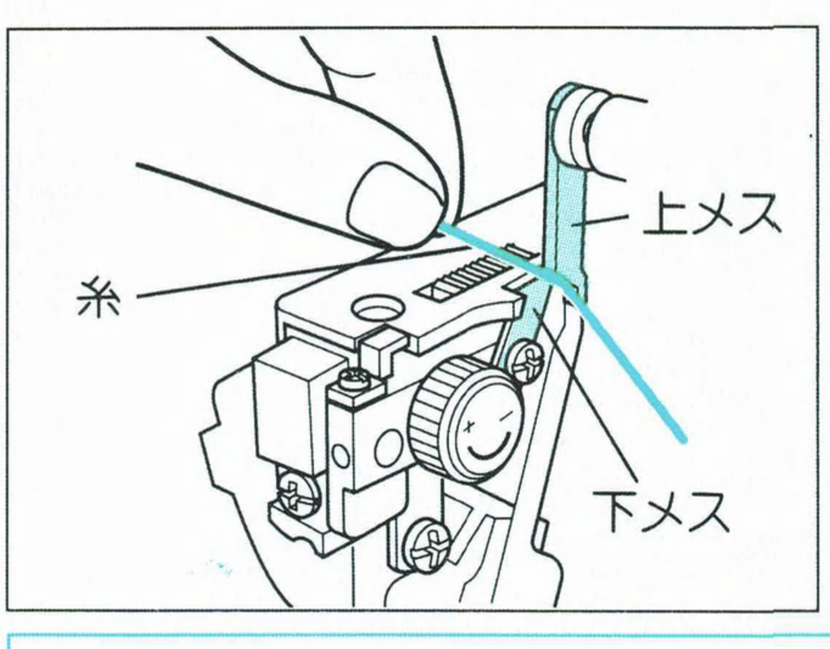
- 巻きぬい…糸調子はアンダールーパー糸(青)を締めて(7~8)針糸(黄)のぬい目に寄せます。オーバールーパー糸(緑)はウーリー糸を使用して下さい。
  必ず試しぬいをして糸調子を確かめてからぬい始めて下さい。
- 細ロックぬい…糸調子はそのままの状態でぬいます。
  アンダールーパー糸(青)とオーバールーパー糸は布の端でからみます。糸調子は、巻きぬいと細ロックとでは異なります。
  必ず試しぬいをして糸調子を確かめてからぬい始めて下さい。

●正しい糸調子





13 メスが切れなくなったとき

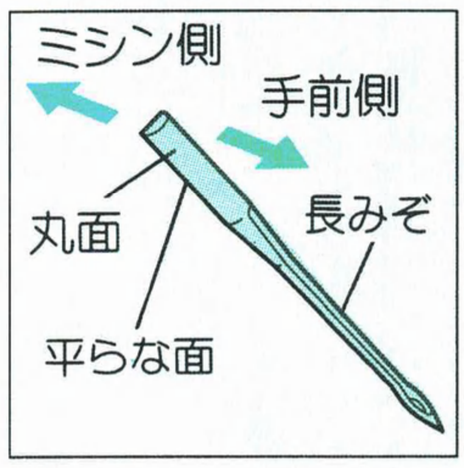


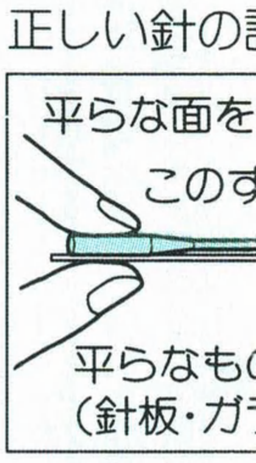
- メスの切れ味が悪いとぬい目がきたなくなり布地にしわがよります。
- メスの切れ味の判断基準は、糸1本がよく切れることです。

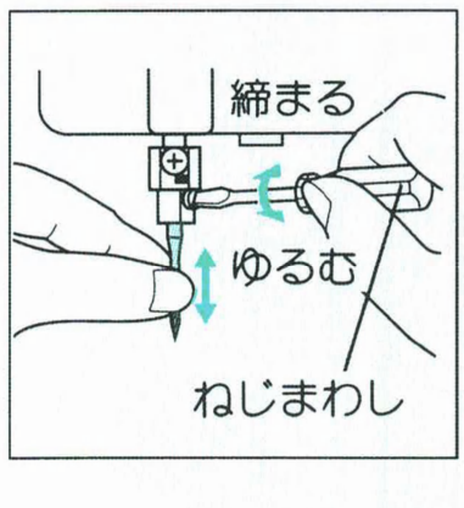
※メスが切れなくなったときは…
最寄りのブラザー販売店で交換・調整サービス(有料)を受けてください。

⚠注意
上メス・下メスの刃部には絶対に触れないでください。ケガをする恐れがあります。

14 針の交換



正しい針の




注記
- 針締め
  に注意

⚠注意
取り付け方
1) 電源ス
2) プーリ
3) 針の平
   針を差
4) 針締め

15 こんなときには

●ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。ミシンの場合、ちょっとした使用上の誤りから起る原因が多いものです。一度その原因を確かめ、処理しましょう。もし、それでもなおらない場合は、最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

調子よくぬえない状態	原　　因	処　　理
1.布地を送らない	1.布押さえの圧力が弱すぎる場合	押さえ調節ねじを右へ回し押さえ圧力を強くします。
	2.糸が必要以外のところにからんでいる場合	正しく通し直します。
2.針が折れる	1.針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。
	2.針の取り付けが悪い場合	正しく取り付けます。
	3.布地を無理に引っ張った場合	ぬいながら布地を強く押さえたり引っ張らないでください。
3.糸が切れる	1.糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。
	2.糸が必要以外のところにからんでいる場合	糸かけなどに糸がからんでいないか確かめます。
	3.糸調子が強すぎる場合	〈糸調子〉をご覧ください。
	4.針の取り付けが悪い場合	針の取り付け方を確かめてください。
	5.悪い針を使用した場合	針はブラザー針HLX5をご使用ください。
4.目飛びする	1.針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り替えます。
	2.針の取り付けが不完全な場合	正しく取り付けます。
	3.悪い針を使用した場合	針はブラザーミシン針HLX5をご使用ください。
	4.糸の通し方がまちがっている場合	正しく通し直します。
	5.布押さえの圧力が弱すぎる場合	押さえ調節ねじを右へ回し押さえ圧力を強くします。
5.ぬい目の調子が悪い	糸調子が完全でない場合	〈糸調子〉をご覧ください。
6.ぬい物にしわがよる	1.糸調子が強すぎる場合	薄物をぬうときは、できるだけ調子をゆるめます。
	2.糸の通し方がまちがっていたり必要以外のところにからんでいる場合	正しく通します。
7.布地の切れ味が悪い	1.メスのかみ合いが悪い場合	〈メスが切れなくなったとき〉をご覧ください。
	2.刃先が摩耗している場合	新しいメスと取り替えます。

調べ方

ミシンの針は、HLX5(11番、14番)をご使用ください。(HAX1、11番、14番、16番もご使用できます)

下にして

すき間平行

の

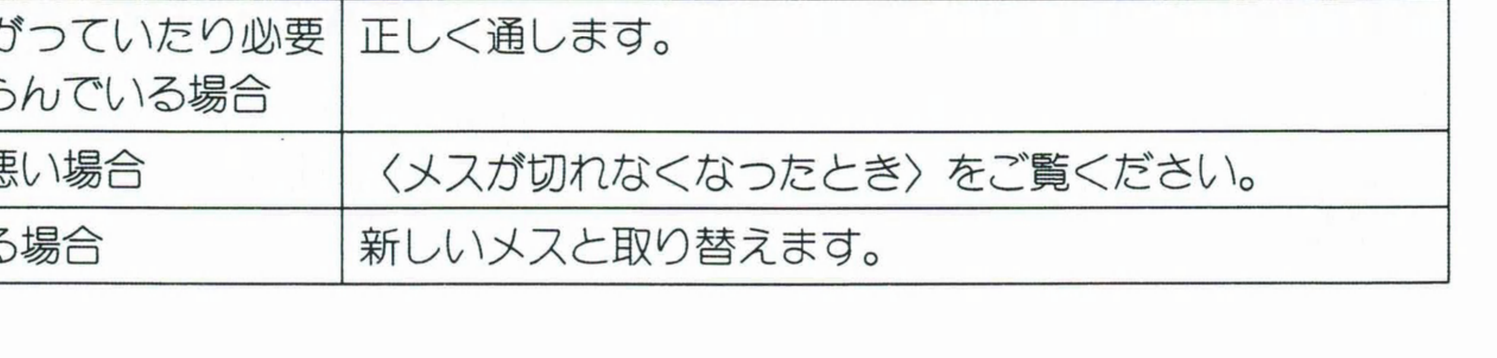
ラスなど)

⚠注意
取りはずし方
1)電源スイッチを〈OFF〉にします。
2)プーリーを回し針を最上位にします。
3)針締めねじをゆるめて、針を取りはずします。

ねじをゆるめるときは、針を落とさないようしてください。

イッチを〈OFF〉にします。
ーを回し、針を最上位にします。
らな面をうしろにして、完全につかえるまで
し込みます。
ねじを締め付けます。

16 注油とお手入れ



●1カ月に1～2回ミシン油を注油してください。
(毎日数時間ご使用の場合は、1週間に1回注油してください。)
●矢印の箇所に1～2滴注油してください。

ミシン各部にたまったホコリは、付属のミシンブラシでときどき掃除をしてください。

●いつもきれいに…

かるい汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどい汚れは中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふき取ってください。

ブラザー工業株式会社
名古屋市瑞穂区苗代町15-1　〒467
TEL：(052)824-2511(代表)

116-233
193233-0-03
9910③